

目 次

1. トートバッグのひな形を開く	3
2. トートバッグのひな形をリムーバブルディスクに保存する	6
3. 表示倍率の変更	11
4. 画像を挿入する	13
(1) 画像を挿入する	13
(2) 文字列の折り返しを設定する	17
(3) 画像のサイズを変更する	19
(4) 画像を移動する	21
(5) 画像を図形に合わせてトリミングする	23
(6) 画像に効果を設定する	25
5. 緑枠のガイドを消す	27
6. PDF 形式で保存する	28
7. 図形を描く	32
(1) 図形を描く	33
(2) 図形の塗りつぶしの色を設定する	36
(3) 図形の線の色を設定する	38
(4) 図形に効果を設定する	40
8. ワードアートを挿入する	43
(1) ワードアートを挿入する	43
(2) ワードアートのフォントサイズ（文字の大きさ）を変更する	46
(3) ワードアートのフォント（文字の書体）を変更する	48
(4) ワードアートの移動	50
(5) 文字の塗りつぶしの色を設定する	52
● トートバッグの注文について	55

予非天下見本

世界にひとつだけのオリジナル雑貨を作りたい！



ウメさん「先生。世界にひとつだけのオリジナルの雑貨を何か作りたいのですが、何かいいアイデアはないですか？」

くじら先生「そうですね～。トートバッグはどうですか？」

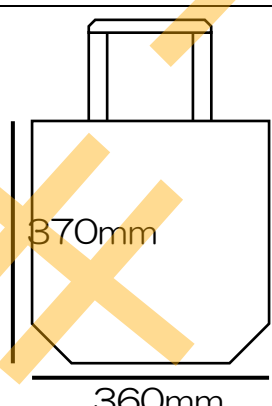
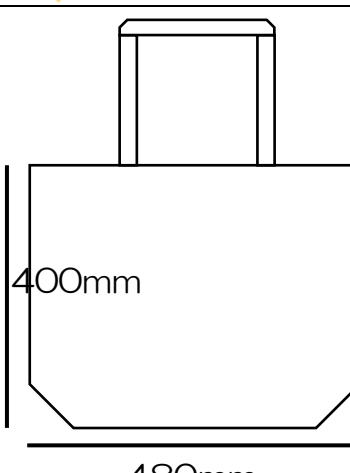
ウメさん「トートバッグ！？ そんなことできるんですか？」

くじら先生「はい。市販の無地のトートバッグのサイズに合うようにイラストや写真をワードで挿入して、あとは注文に出すだけ！！ 簡単にできますよ。」

ウメさん「そうなんです。じゃ、さっそく作ってみたいわあ～」

くじら先生「はい。では、始めましょう。
Mサイズは、お稽古用に、Lサイズはエコバッグ用にいいですよ！」

このテキスト内で作成できるトートバッグのサイズは、2種類あります。

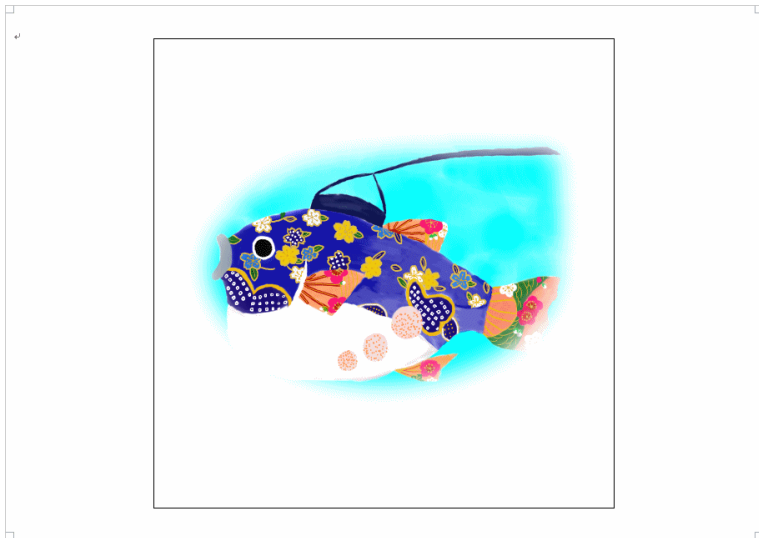
サイズ	M	L
横幅	360mm	480mm
高さ	370mm	400mm
マチ	110mm	150mm
		

このサイズの中で、ご自分が作りたいトートバッグのサイズを**決め**ましょう。
なお、このテキストでは、Mサイズで作成していきます。

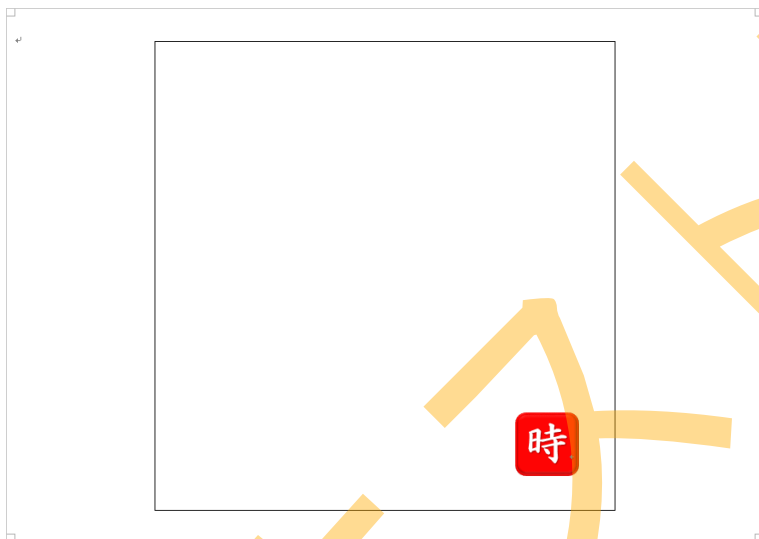


【完成例】

● 前面



● 後ろ面



黒い枠線は、業者がトートバッグに印刷する際に目印となる線ですので、実際には絵柄のみが印刷されます。

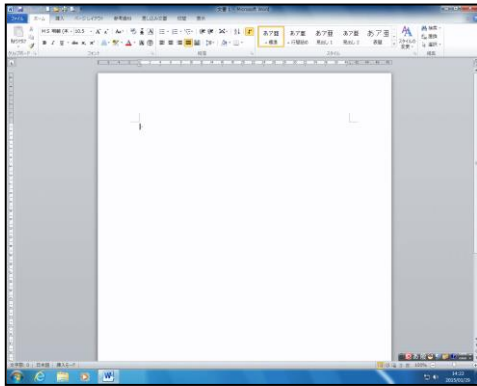


1. トートバッグのひな形を開く

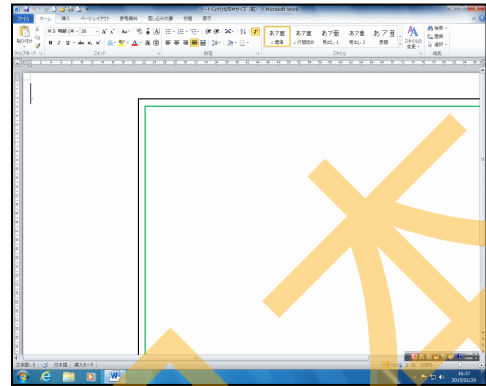
まずはトートバッグのひな形をドキュメントから開きましょう。

◆ドキュメントからトートバッグのひな形を開く方法をマスターしましょう。

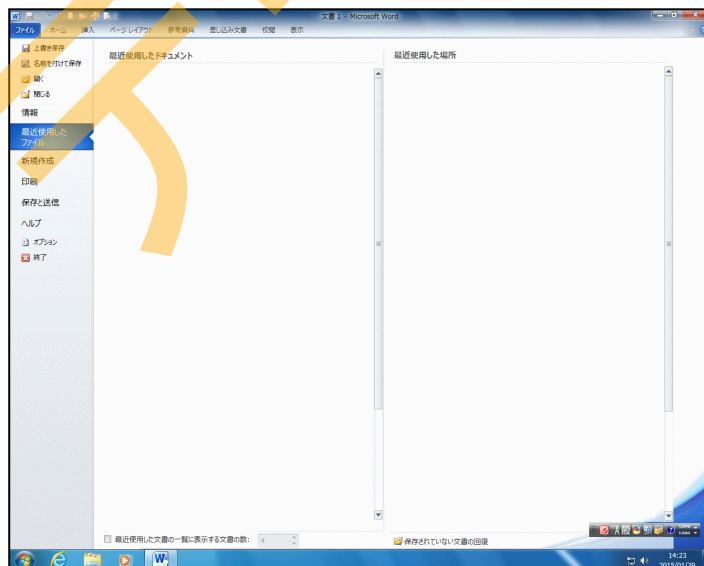
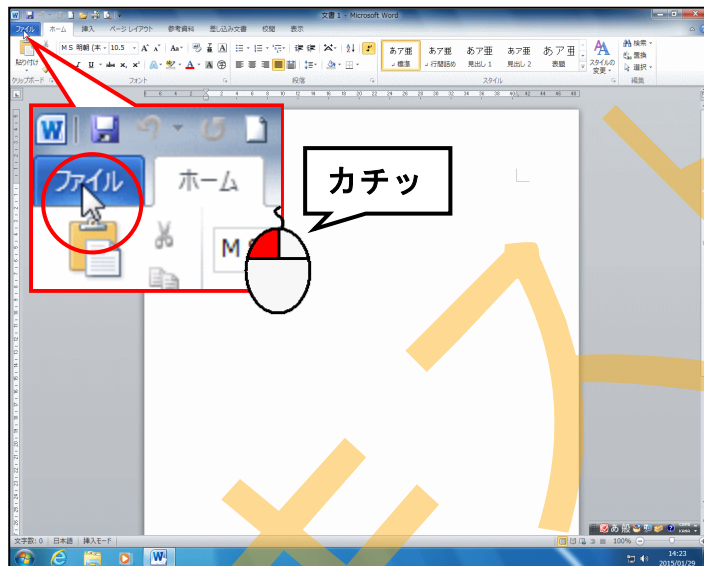
操作前



操作後

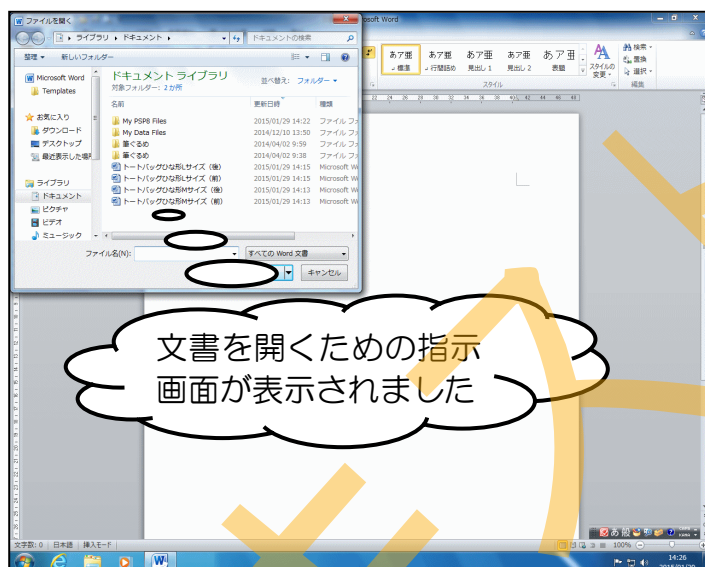
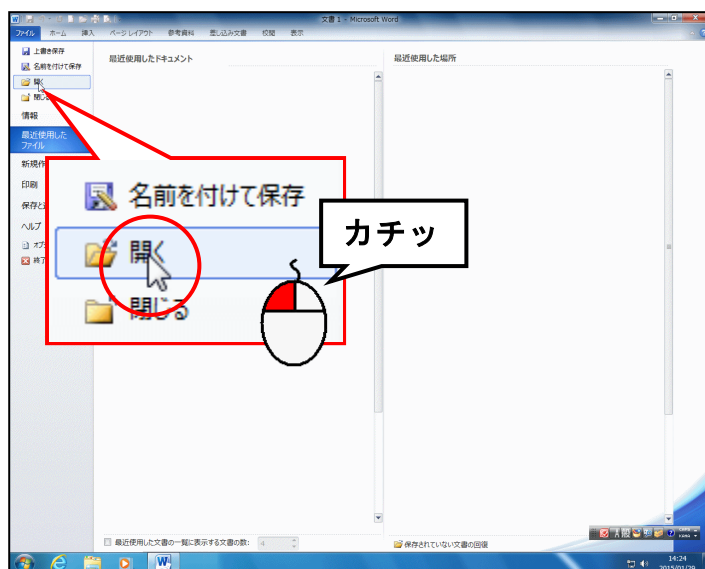


ワード画面を開き、[ファイル] タブにポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、[ファイル] タブをクリックした際に表示される左側のメニューは、左図と違うことがあります。

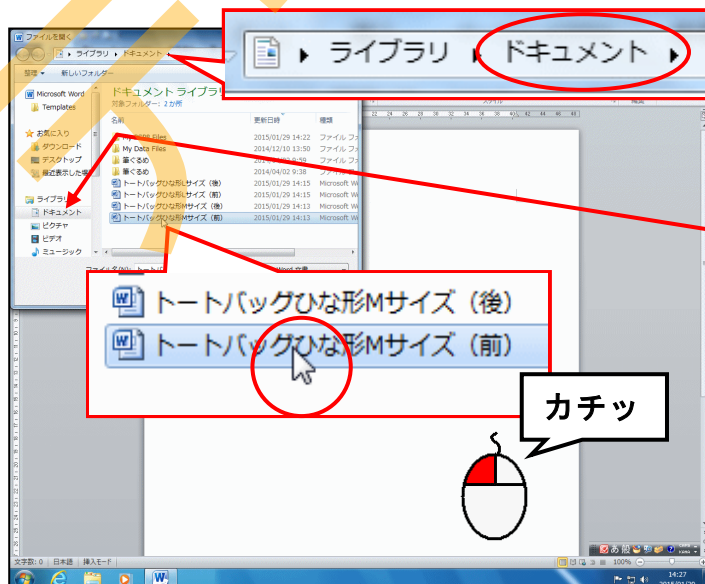
表示されたメニューの「開く」にポイントし、クリックします。



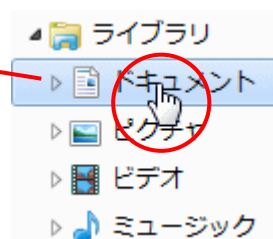
●「開く」をクリックすると、左のように「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

●お使いのパソコンによって、「ファイルを開く」ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

「ファイルの場所」に「ドキュメント」が表示されていることを確認して、「トートバッグひな形 M サイズ（前）」にポイントし、クリックします。

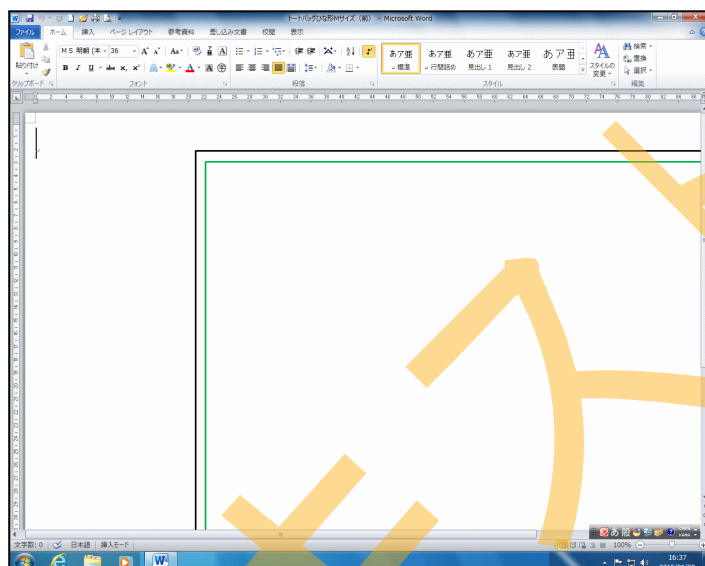
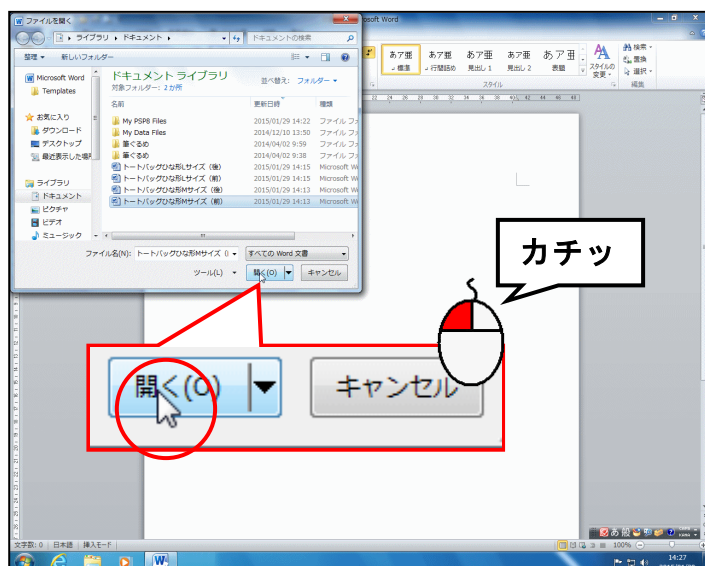


●「ドキュメント」が表示されていない場合は、画面左側の「ドキュメント」をクリックしましょう。



●ここでは、M サイズを選択していますが、L サイズを作りたい方は、「トートバッグひな形 L サイズ（前）」を選択してください。

【開く (O)】 ボタンにポイントし、クリックします。



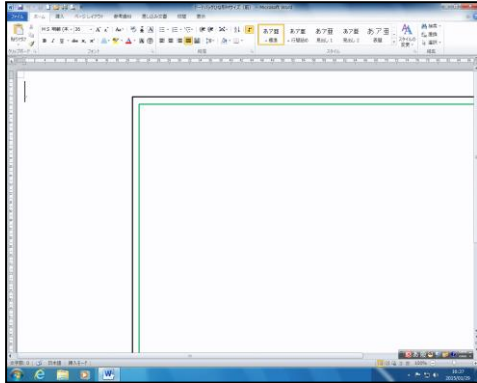
● 【開く (O)】 ボタンをクリックすると、トートバッグ M サイズのひな形が画面上に表示されます。

2. トートバッグのひな形をリムーバブルディスクに保存する

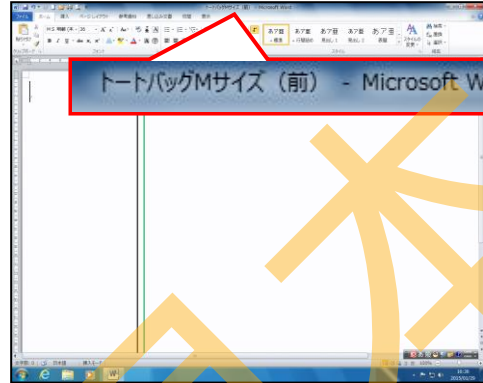
画面上に表示されたトートバッグのひな形をリムーバブルディスクに保存しましょう。

◆トートバッグのひな形をリムーバブルディスクに保存する方法をマスターしましょう。

操作前

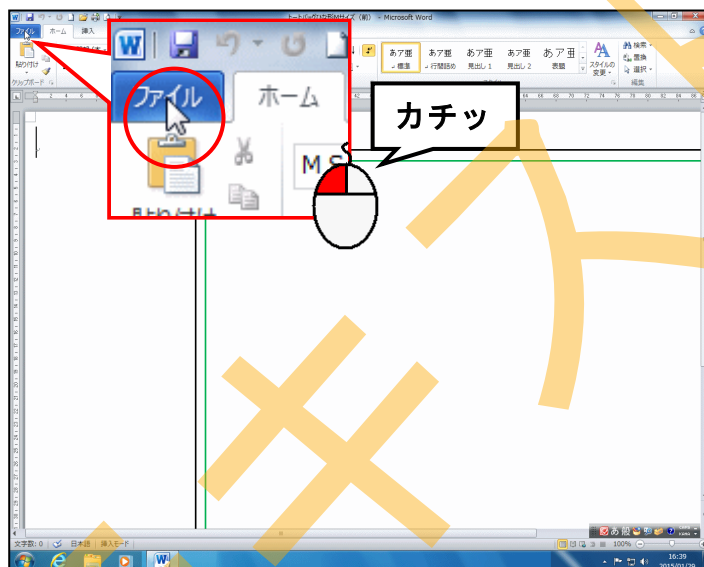


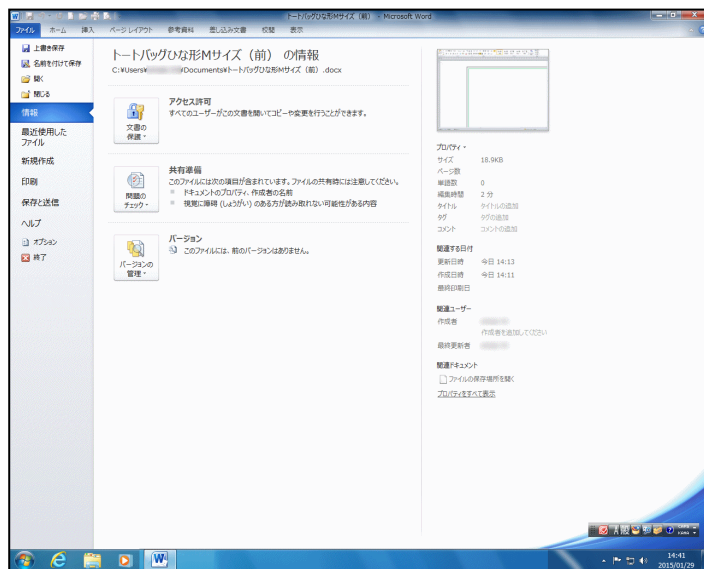
操作後



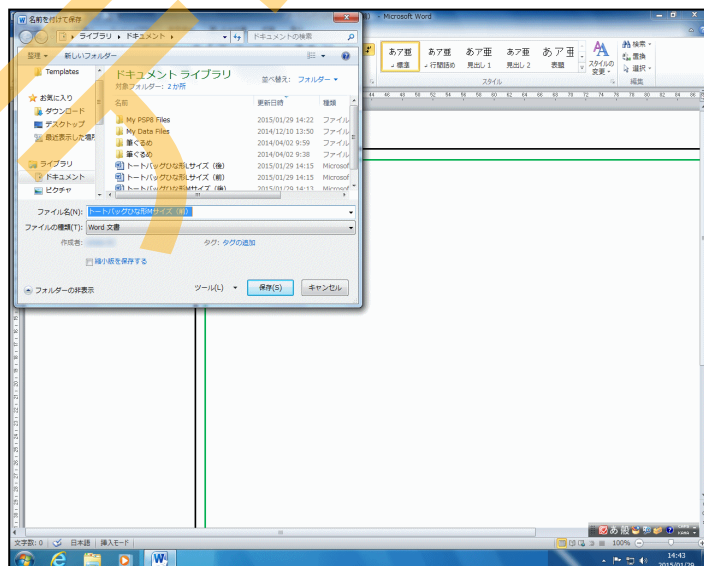
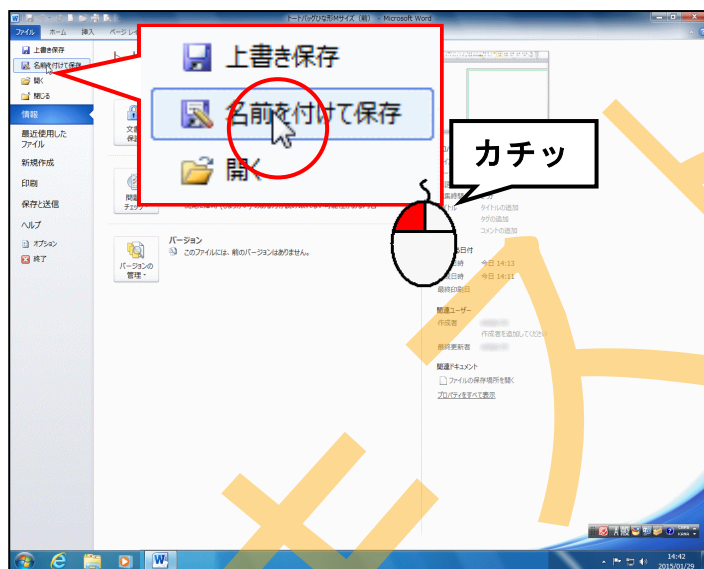
※操作に入る前に、リムーバブルディスクをパソコンに差し込んでください。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。

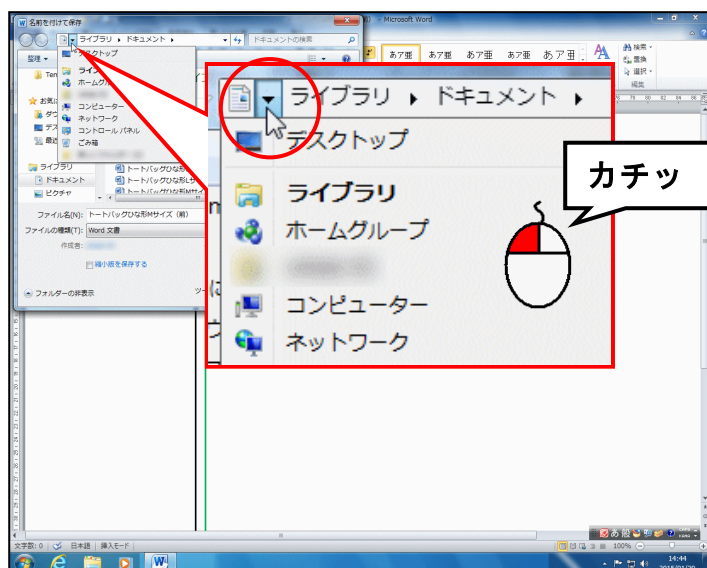




「名前を付けて保存」にポイントし、クリックします。

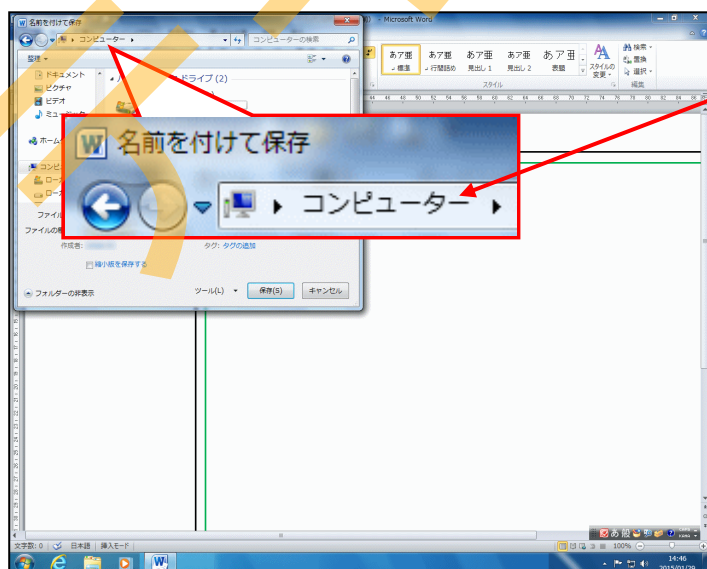
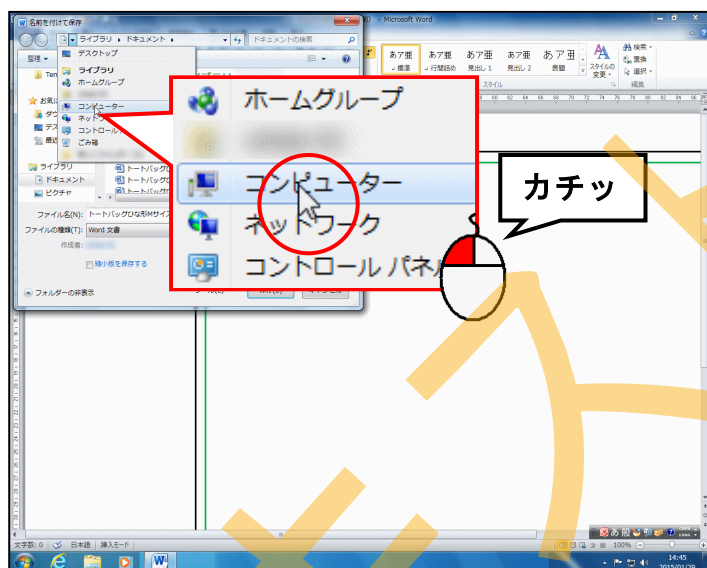


「ライブラリ」の左にある ▾ にポイントし、クリックします。



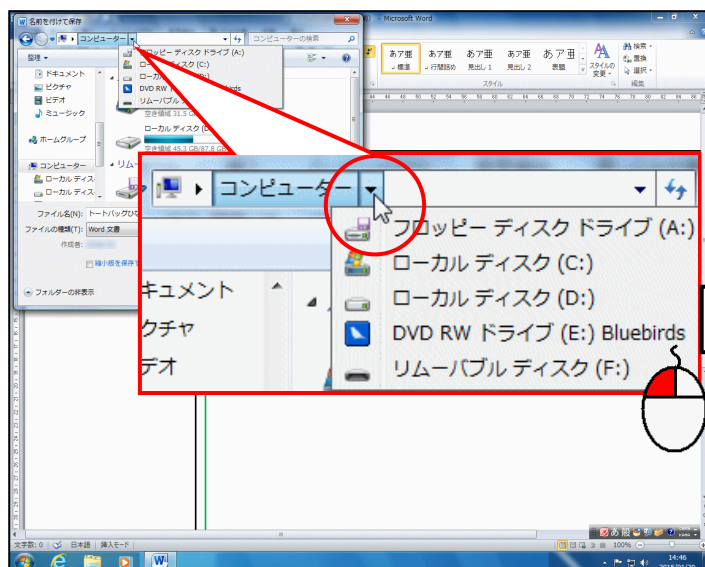
- 「ライブラリ」の左にある ▾ は、クリックした時点で、左のように ▾ に変わります。

表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。



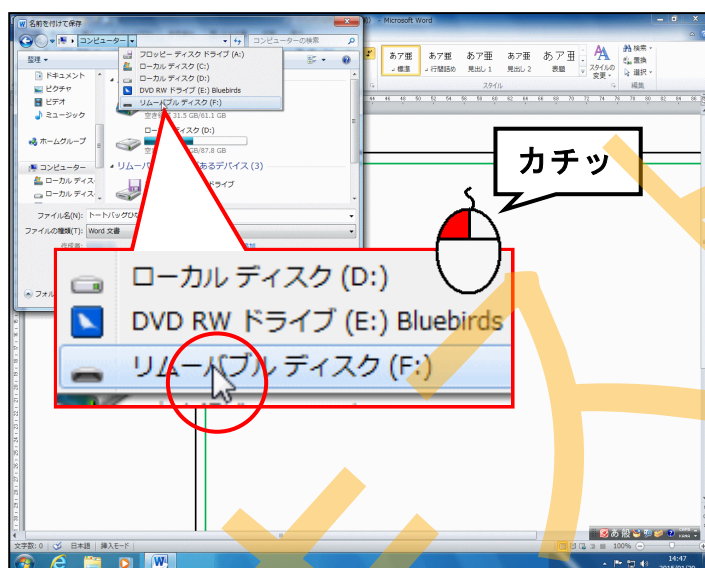
- 「コンピューター」をクリックすると、[保存先] ボックスに「コンピューター」が表示されます。

「コンピューター」の右にある ▾ にポイントし、クリックします。



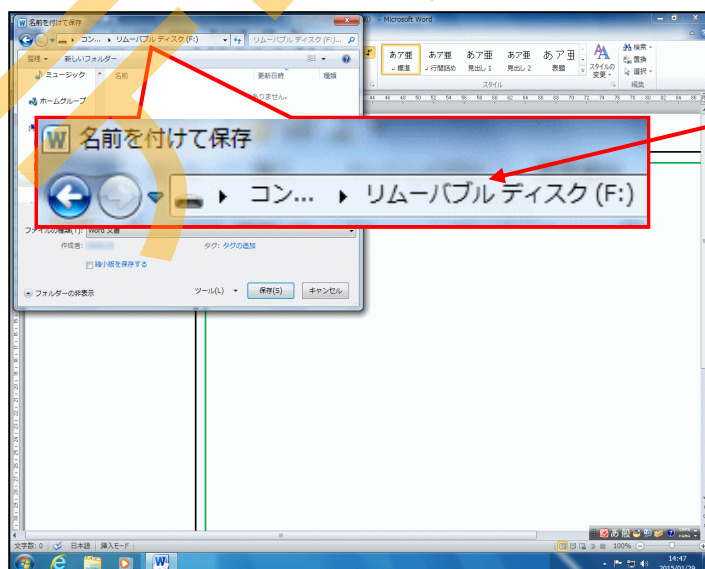
●「コンピューター」の右にある ▾ は、クリックした時点で、左のように ▾ に変わります。

「リムーバブルディスク (F:)」にポイントし、クリックします。



注意!

●お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが「(F:)」とは限りません。

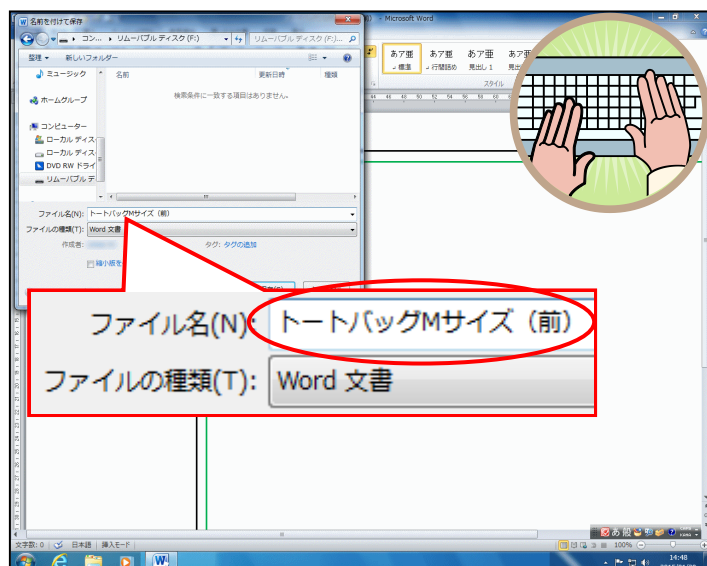


●「リムーバブルディスク (F:)」をクリックすると、「保存先」ボックスに「リムーバブルディスク (F:)」が表示されます。

必ず確認を!!

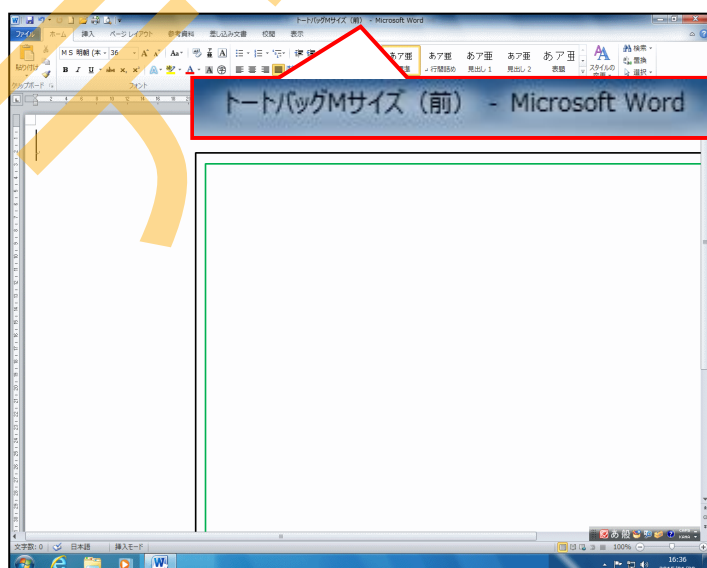
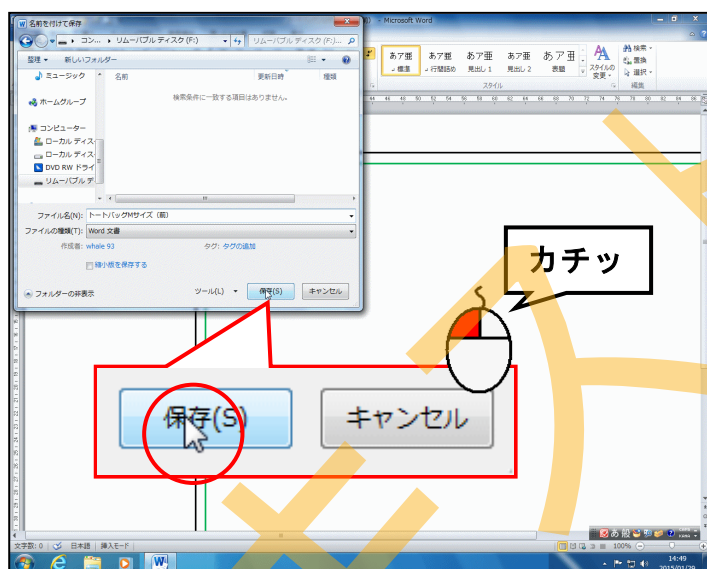


【ファイル名(N):】 ボックスを「トートバッグMサイズ (前)」に変更します。



- 【ファイル名(N):】 ボックスに表示されている「トートバッグひな形Mサイズ (前)」を削除して、「トートバッグMサイズ (前)」を入力しましょう。

【保存(S)】 ボタンにポイントし、クリックします。



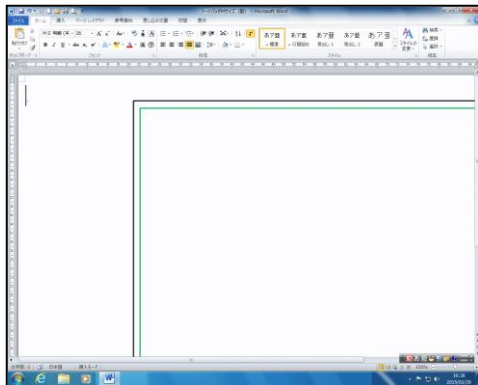
3. 表示倍率の変更

トートバッグを作成する場合、全体的なイメージを確認しながら画像を挿入した方が、バランスよく配置できます。

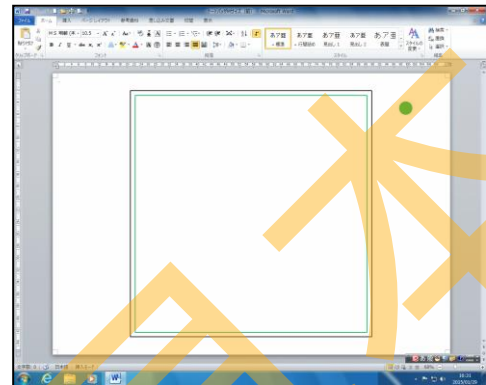
ここでは、ページ全体が表示されるように表示倍率を変更してみましょう。

◆表示倍率の変更方法をマスターしましょう。

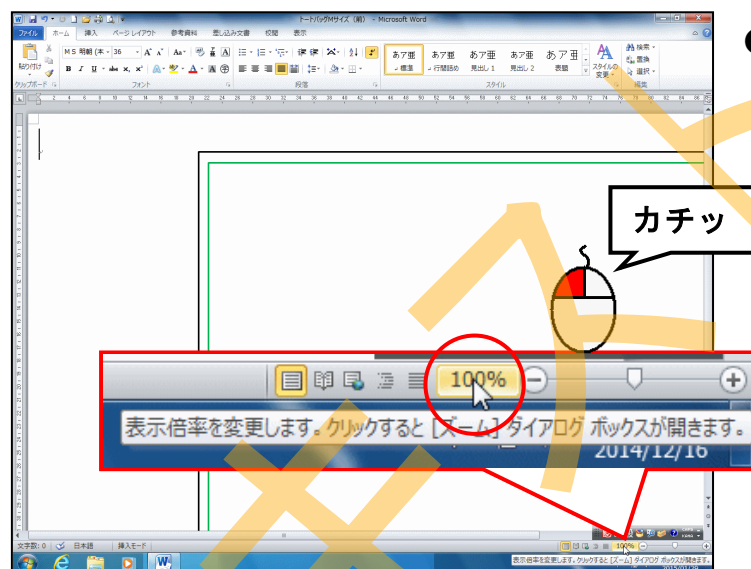
操作前



操作後

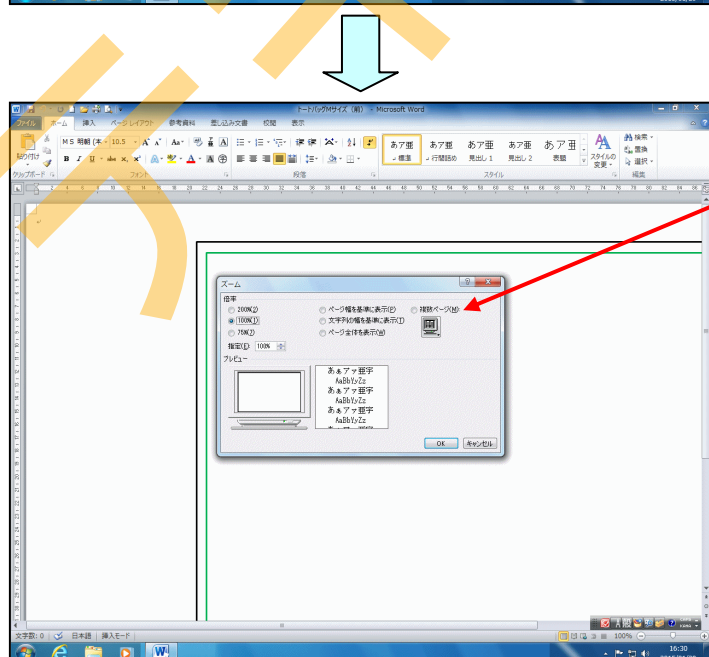


画面右下にある 100% [ズーム] ボタンにポイントし、クリックします。



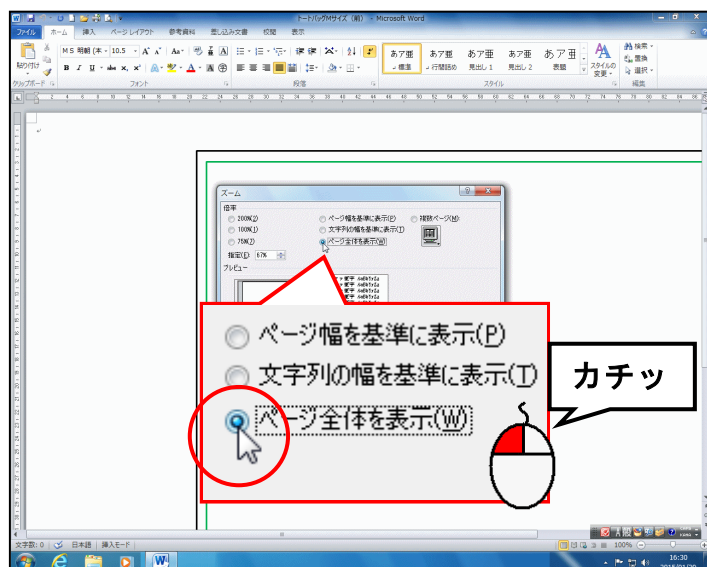
- 100% [ズーム] ボタンにポイントすると、次のようなメッセージが表示されます。

表示倍率を変更します。クリックすると [ズーム] ダイアログ ボックスが開きます。



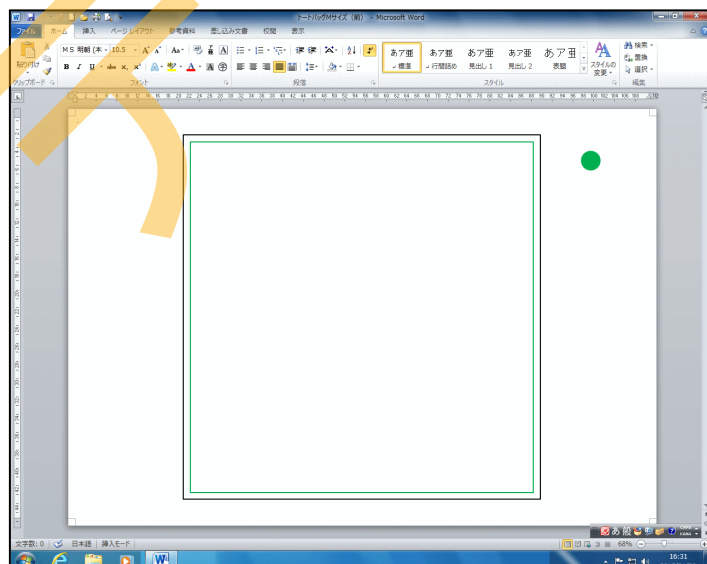
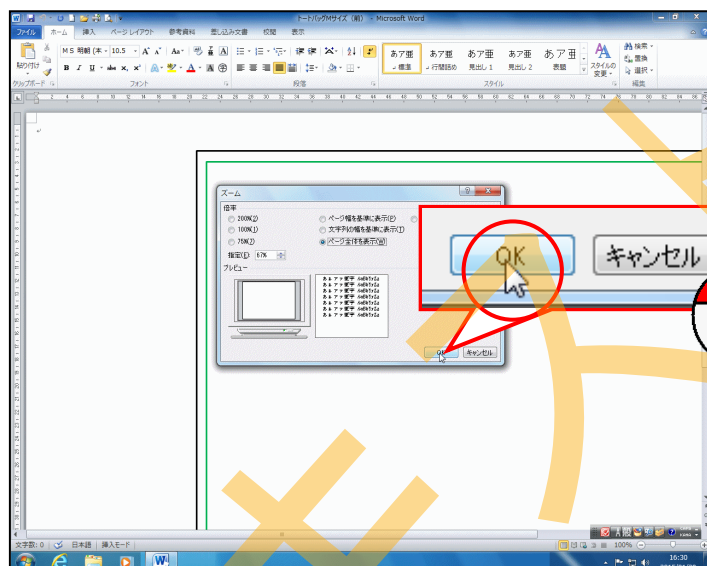
- 100% [ズーム] ボタンをクリックすると、左のように [ズーム] ダイアログボックスが表示されます。

表示された【ズーム】ダイアログボックスで【ページ全体を表示(W)】にポイントし、クリックします。



- 【ページ全体を表示(W)】をクリックすると、左に  が表示されます。

【ズーム】ダイアログボックスの右下にある【OK】ボタンにポイントし、クリックします。



- 【OK】ボタンをクリックすると、表示倍率が縮小されて、ページ全体が表示されます。

4. 画像を挿入する

ここからは、トートバッグのひな形に画像を挿入していきます。

(1) 画像を挿入する

注意!

インターネットや本などから取った写真やイラスト、言葉などには著作権があります！

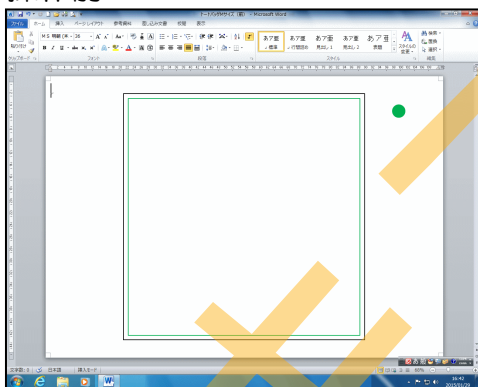
インターネットや本などから取った写真やイラストで、皆さんが作成した成果物を業者などに依頼し、それを購入すると、業者側の責任はもちろん、依頼した皆さんも責任に問われることがありますので、著作権法には、十分に注意しましょう。

家庭内で仕事以外の目的で使用するためにご自分で作成、印刷するのであれば（私的使用のため）、著作物は自由に使えます。

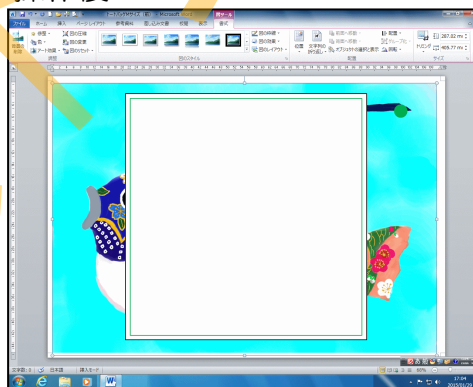


◆トートバッグのひな形に画像を挿入する方法をマスターしましょう。

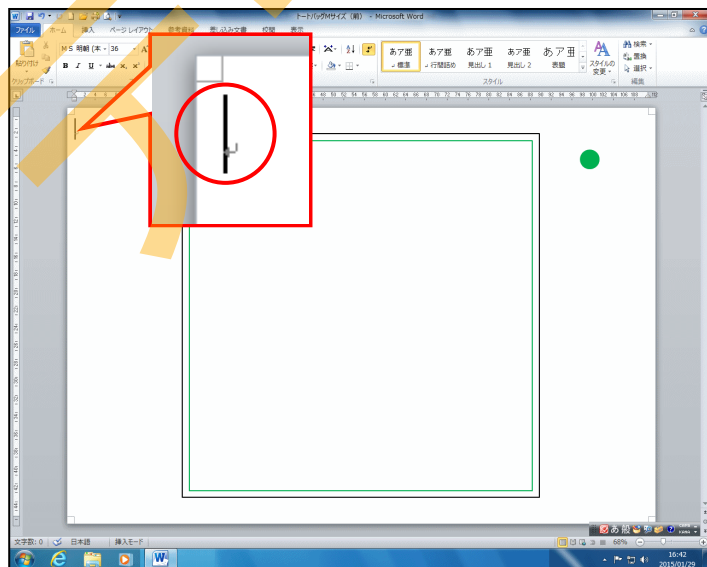
操作前



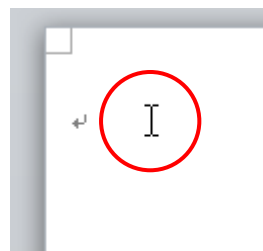
操作後



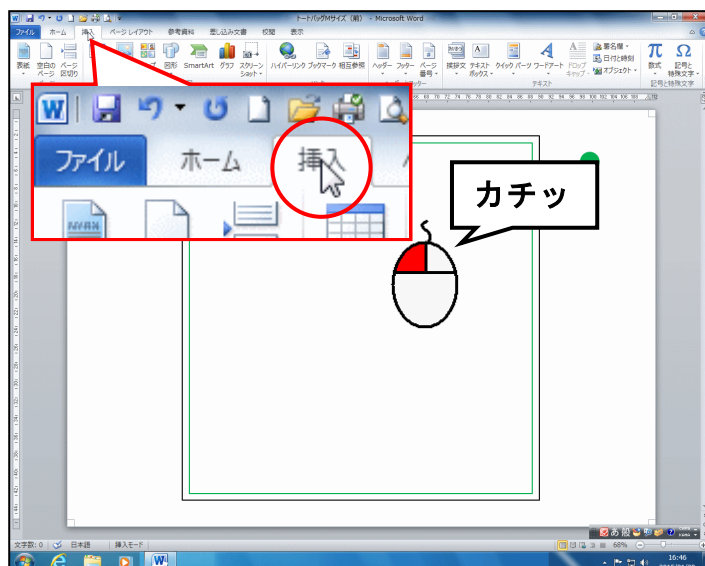
先頭にカーソルが表示されていることを確認します。



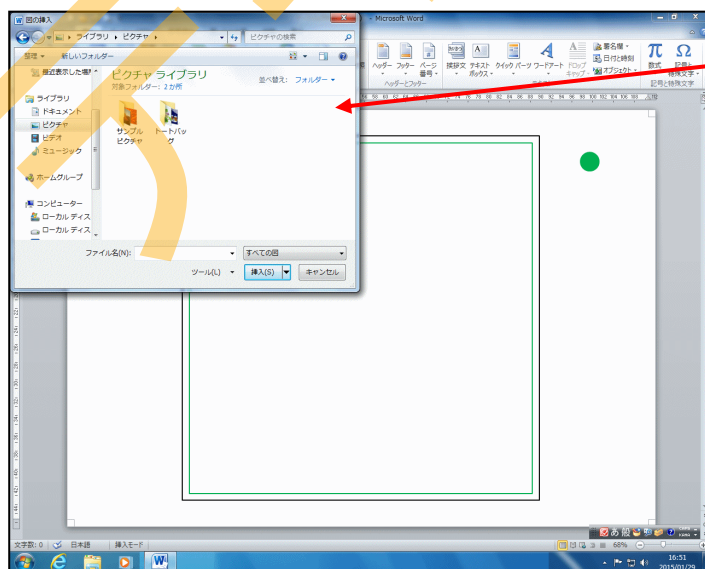
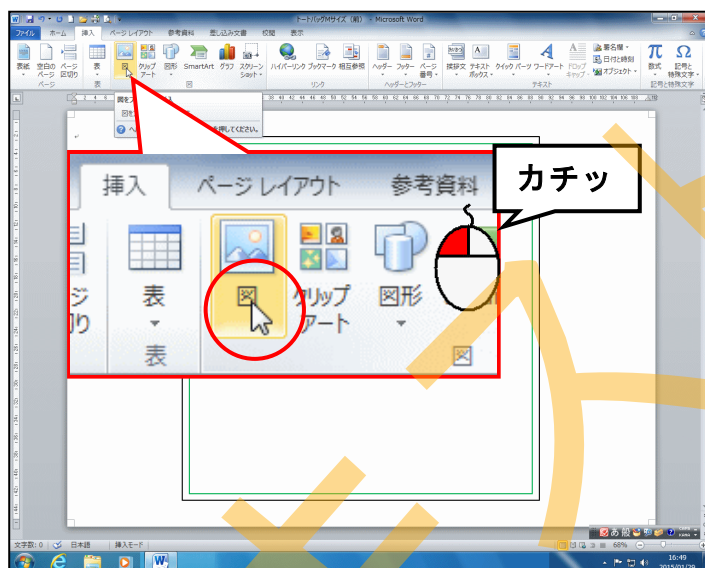
●カーソルが表示されていない方は、用紙左上にマウスポインターを移動し、マウスポインターが I の状態でクリックしてカーソルを表示させましょう。



〔挿入〕タブにポイントし、クリックします。

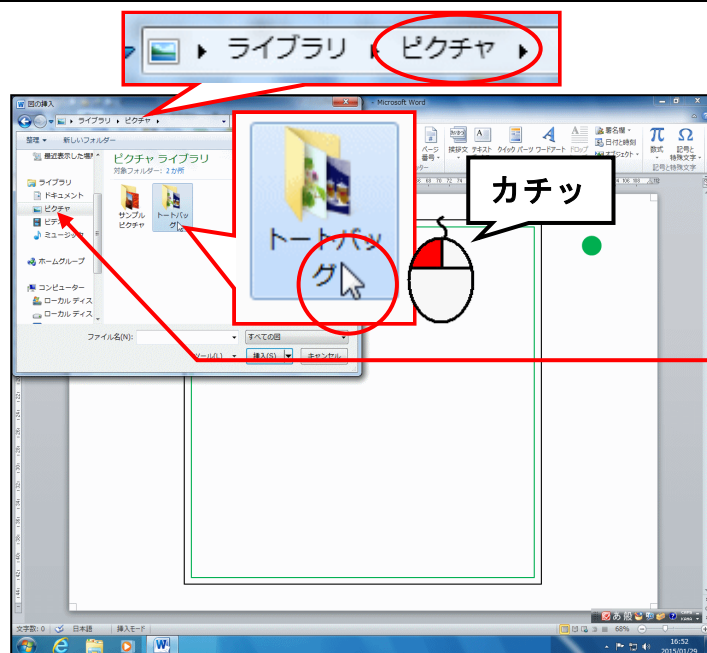


〔図〕グループにある〔図〕ボタンにポイントし、クリックします。

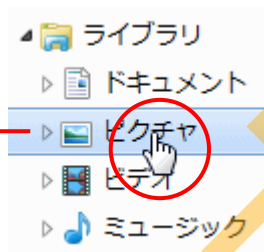


- 〔図〕ボタンをクリックすると、左のように挿入する画像のある場所を指定するための〔図の挿入〕ダイアログボックスが表示されます。
- お使いのパソコンによって、〔図の挿入〕ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

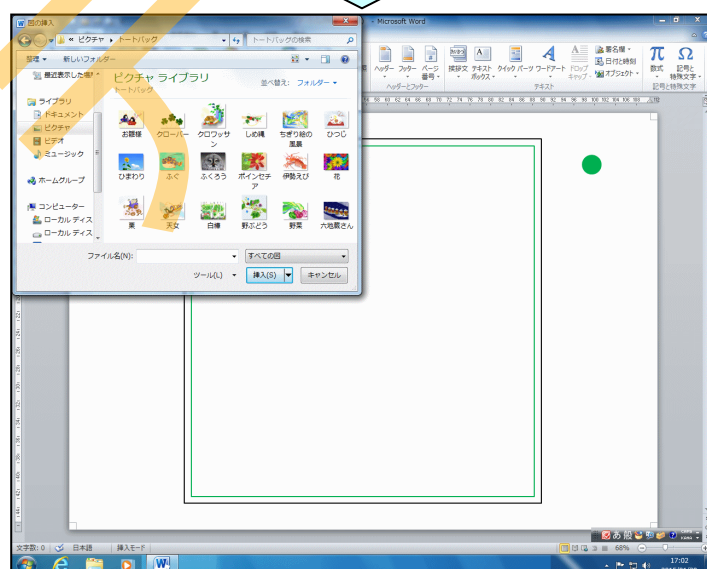
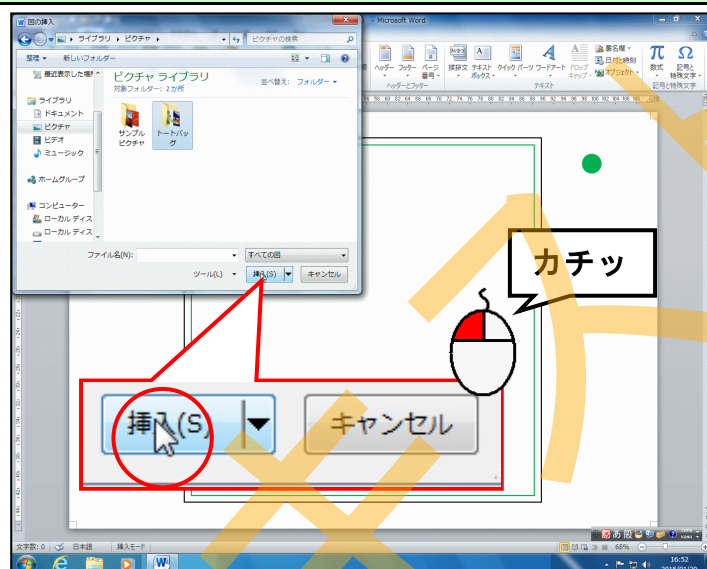
「図の挿入」ダイアログボックスの「ファイルの場所」ボックスに「ピクチャ」が表示されていることを確認して「トートバッグ」フォルダーにポイントし、クリックします。



●「ピクチャ」が表示されていない場合は、画面の左側の「ピクチャ」をクリックしましょう。

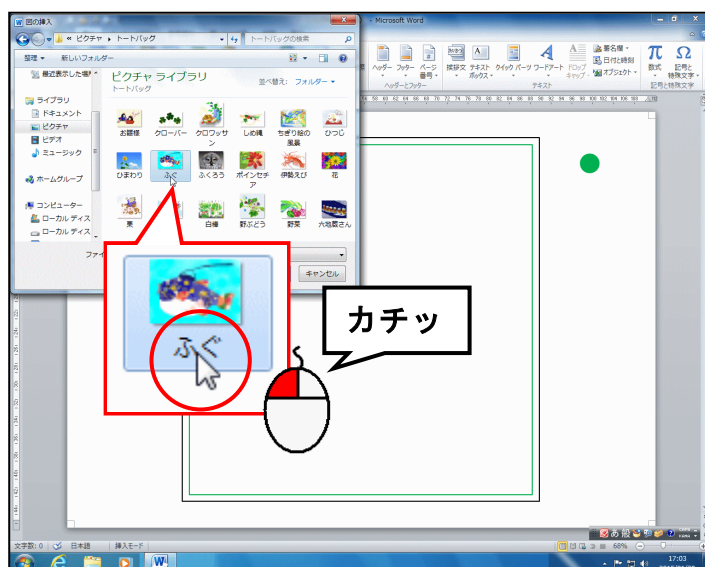


「挿入(S)」ボタンにポイントし、クリックします。

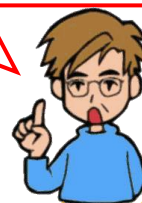


●「挿入(S)」ボタンをクリックすると、左のように「トートバッグ」フォルダーの中身が表示されます。

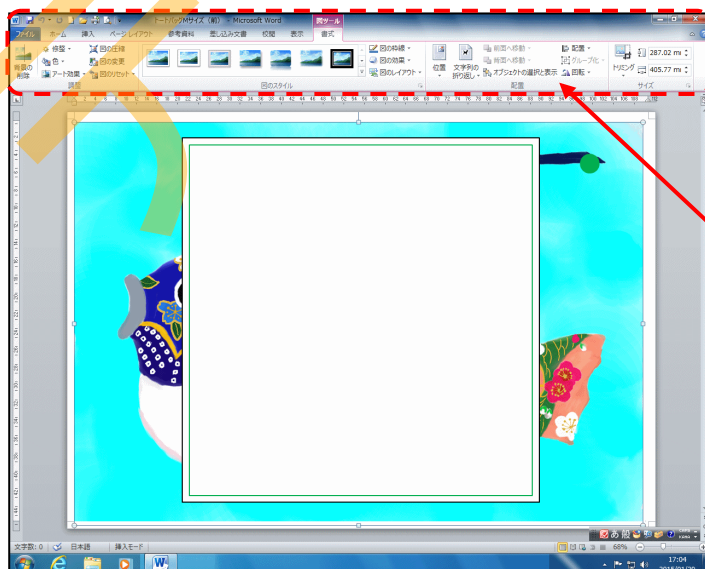
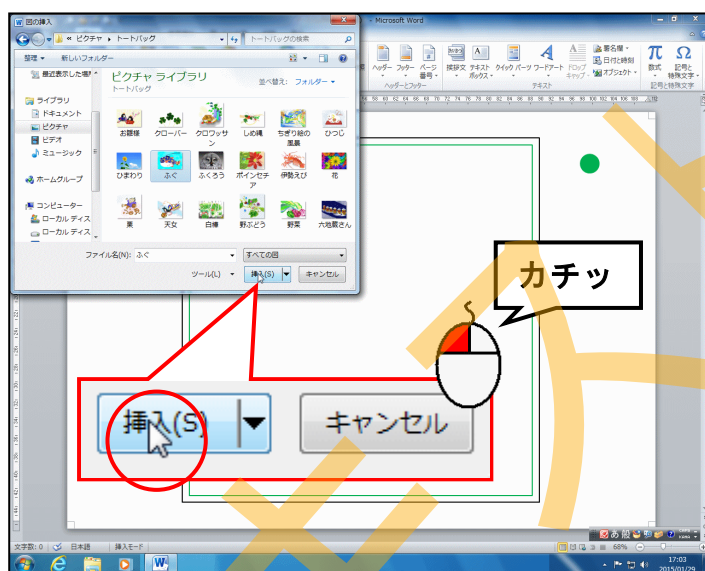
「ふぐ」にポイントし、クリックします。



●テキストでは、「ふぐ」の画像を使用しますが、皆さんはお好きな画像を選びましょう。



【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



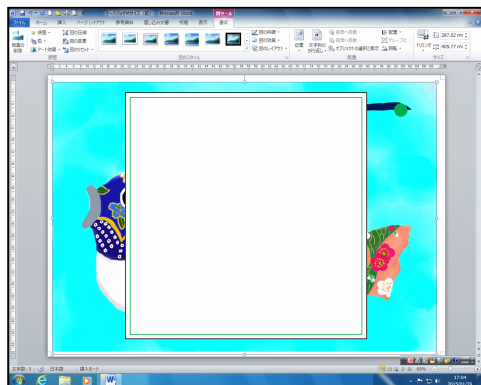
●【挿入(S)】ボタンをクリックすると、左のように「ふぐ」の画像が挿入されます。

●画像が挿入されると、左のように【図】ツールの【書式】タブが表示されます。

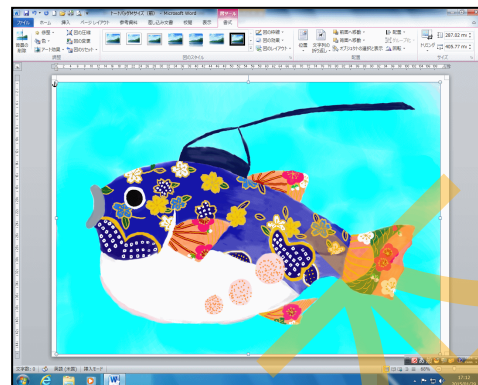
(2) 文字列の折り返しを設定する

◆挿入した画像に文字列の折り返しを設定する方法をマスターしましょう。

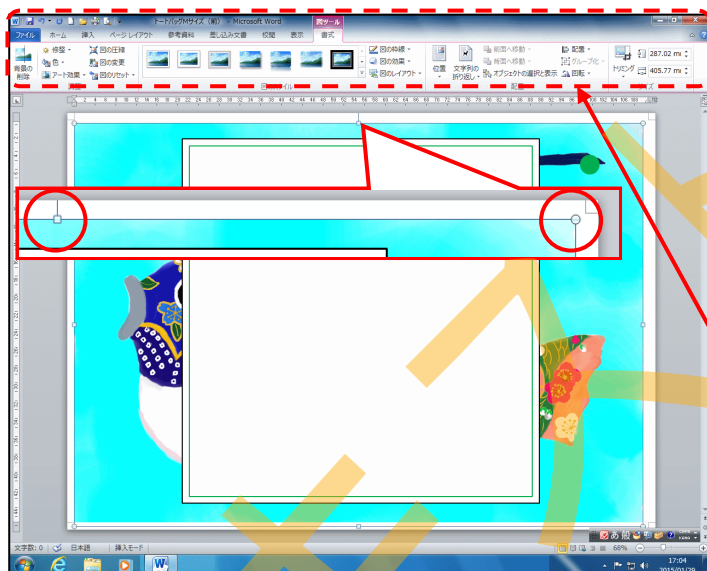
操作前



操作後



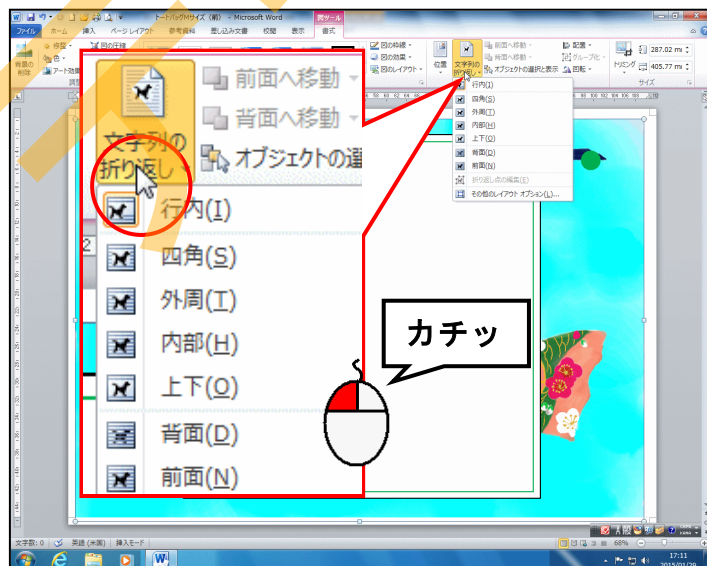
挿入したふぐの画像の周りに  や  が表示されていることを確認します。



注意!

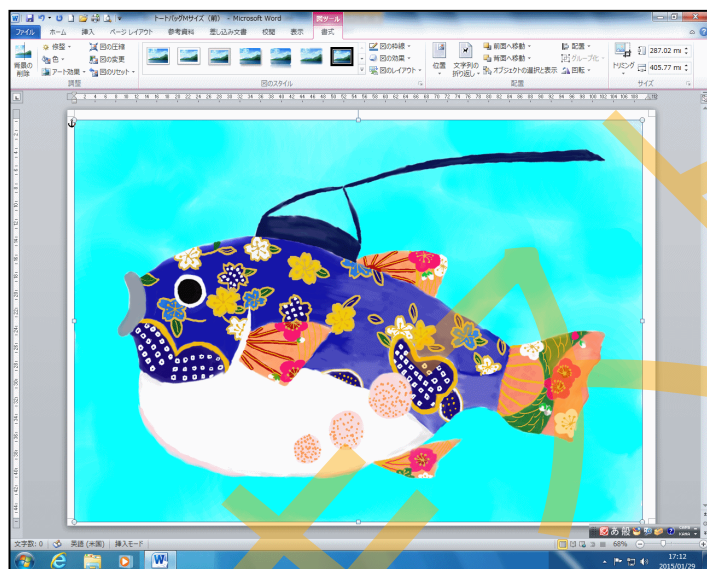
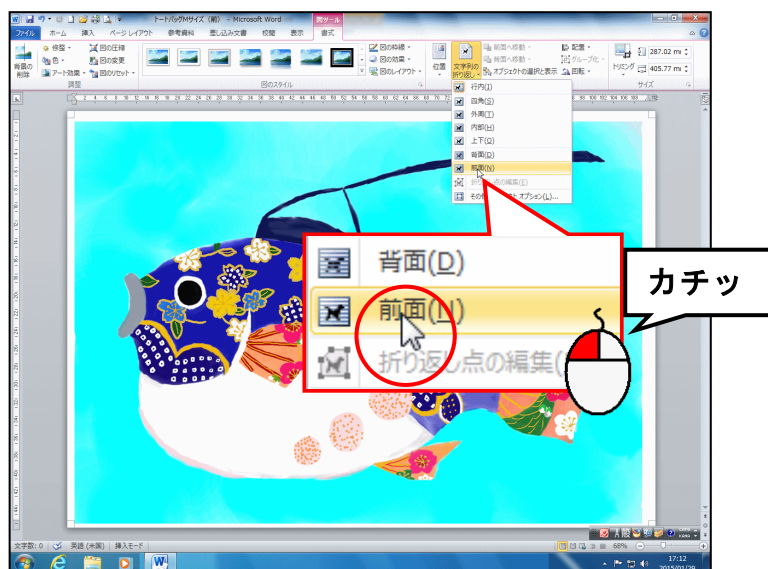
-  や  が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。
- 挿入した画像が選択されていれば、**【書式】タブ**が表示されます。

【配置】グループの  【文字列の折り返し】ボタンにポイントし、クリックします。



- **【書式】タブ**が選択されていない方は、**【書式】タブ**をクリックしてから操作しましょう。

表示された一覧から【前面(N)】にポイントし、クリックします。

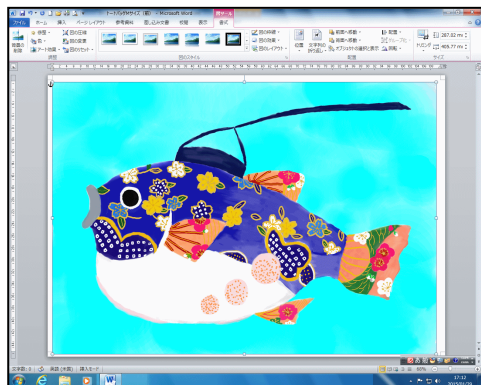


- 【前面(N)】をクリックすると、左のように白い四角形の前面にふぐの画像が表示されます。

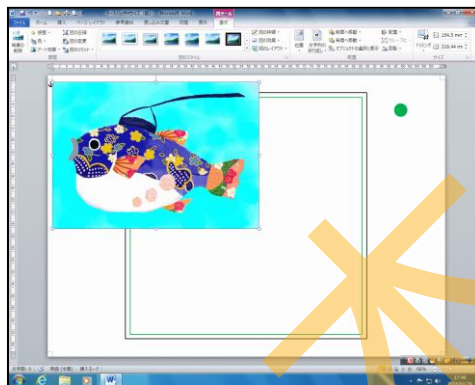
(3) 画像のサイズを変更する

◆挿入した画像のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

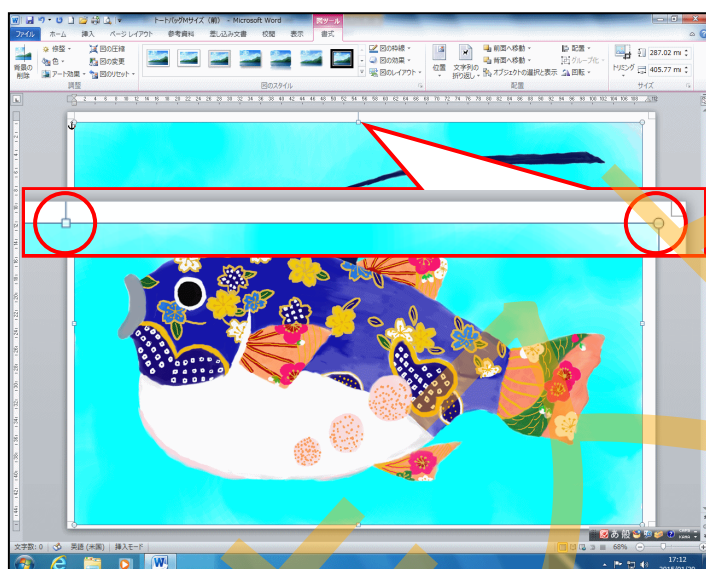
操作前



操作後



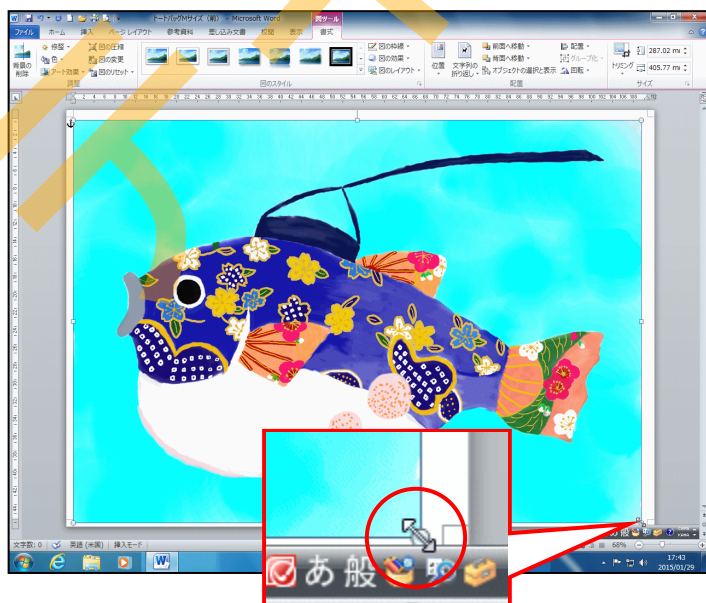
ふぐの画像の周りに  や  が表示されていることを確認します。



注意!

-  や  が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。

ふぐの画像の右下にある  にポイントします。

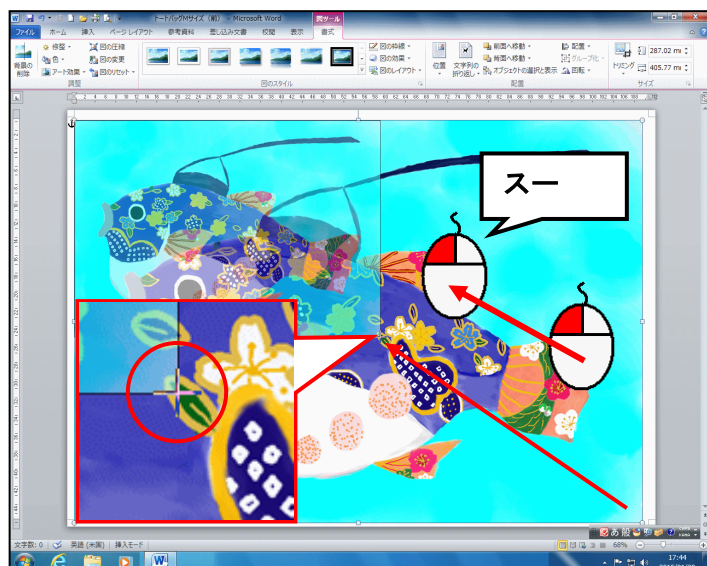


- ふぐの画像の右下にある  にポイントすると、マウスポインターの形が  になります。

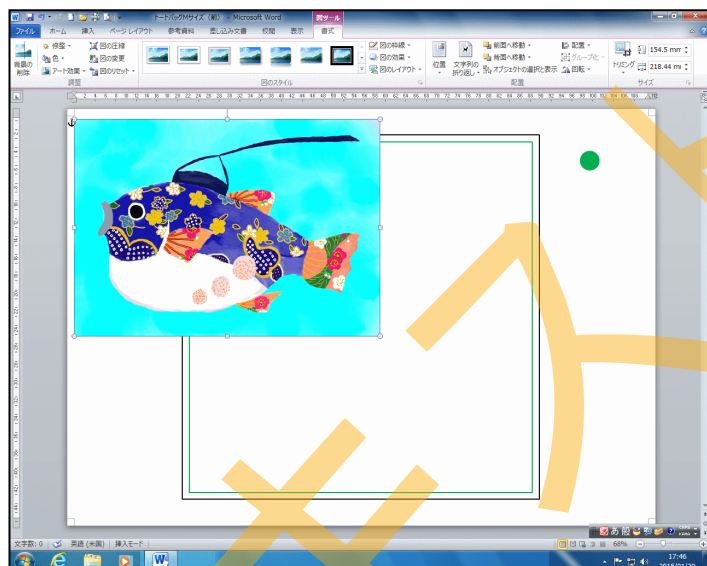
- ポイントする位置によってマウスポインターは、下図のように変化します。



そのまま、下図を参考に左上に向かってドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は、十になっています。

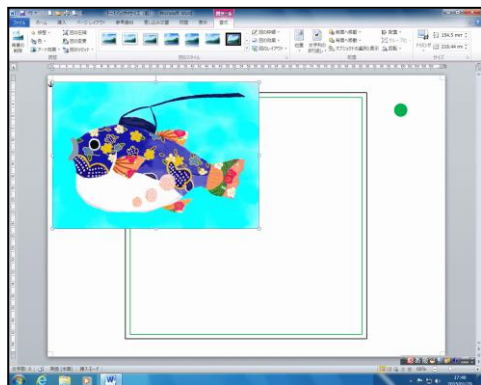


●マウスから手を離れた時点で、画像のサイズが決まります。

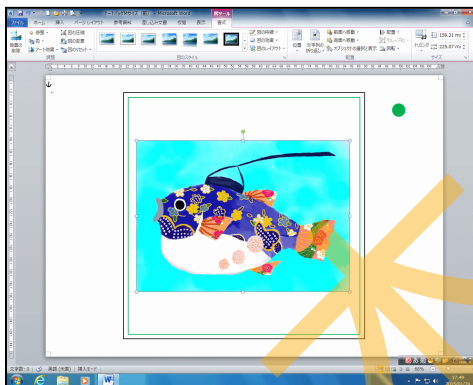
(4) 画像を移動する

◆挿入した画像を移動する方法をマスターしましょう。

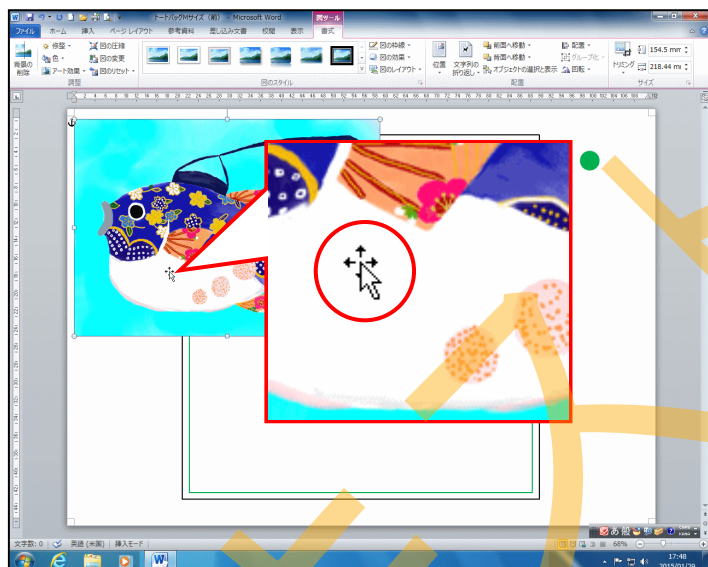
操作前



操作後

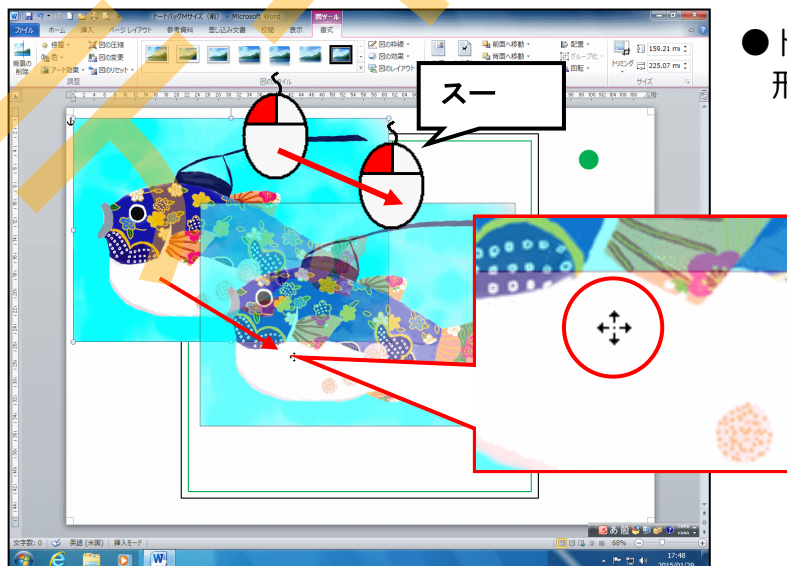


ふぐの画像にポイントします。

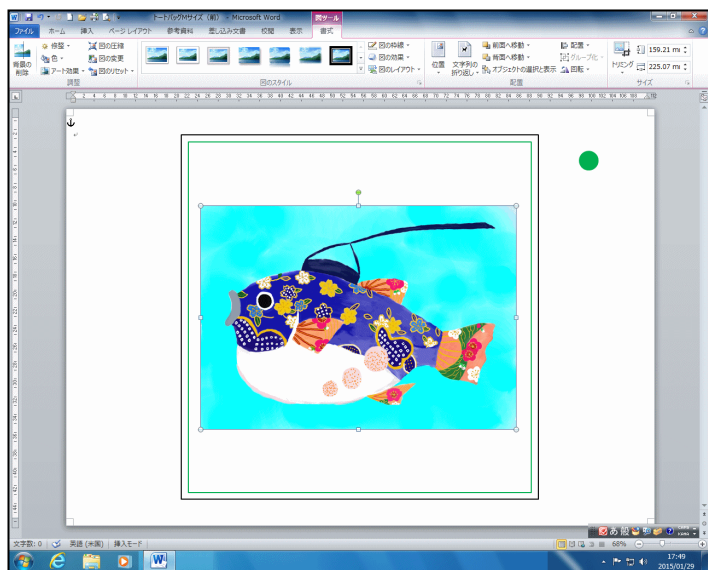


●挿入した画像にポイントすると、マウスポインターが $\star$ になります。

そのまま、ふぐの画像が白い四角形の中に収まるようにドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は、 $\star$ になっています。



●マウスから手を離れた時点で、画像の位置が決まります。

●緑色の枠線（ガイド）の中に画像が収まるように大きさ、位置を調整しましょう。



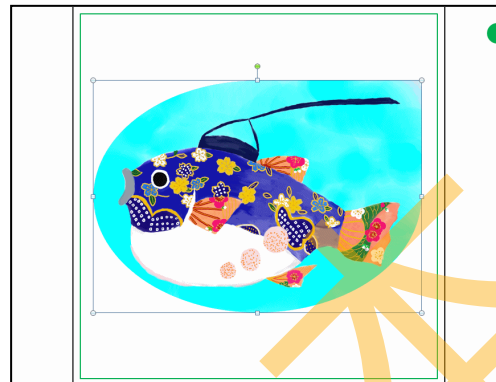
(5) 画像を図形に合わせてトリミングする

◆挿入した画像を図形の形に切り取る方法をマスターしましょう。

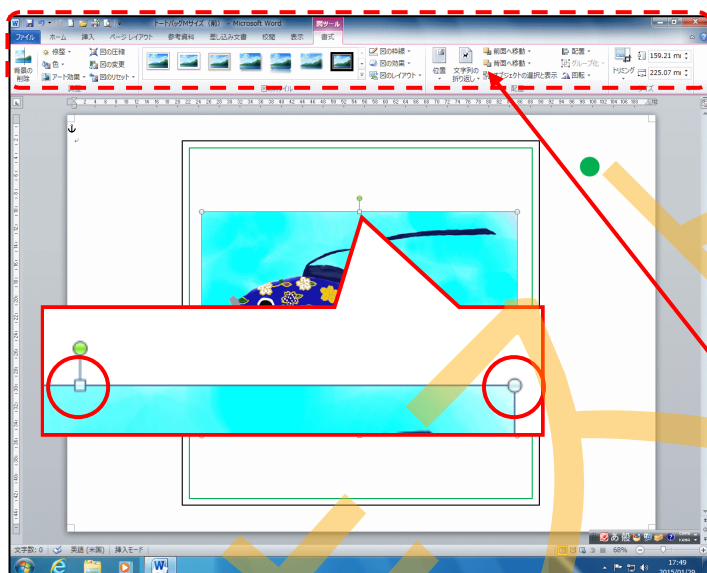
操作前



操作後



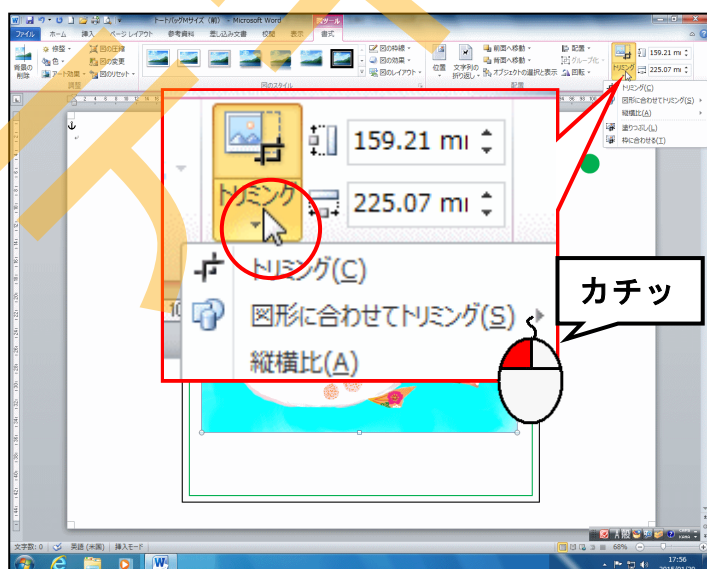
ふぐの画像の周りに や が表示されていることを確認します。



注意!

- や が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが になったところでクリックします。
- 挿入した画像が選択されていれば、**【書式】** タブが表示されます。

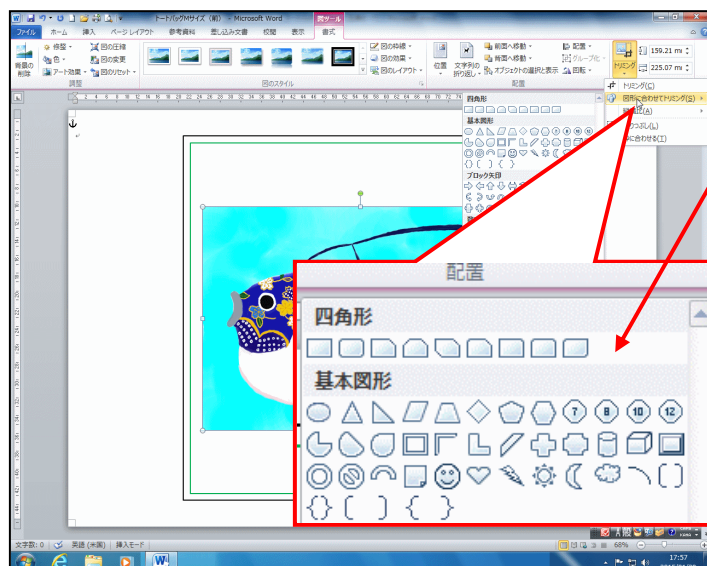
【サイズ】 グループにある **トリミング** **【トリミング】** ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

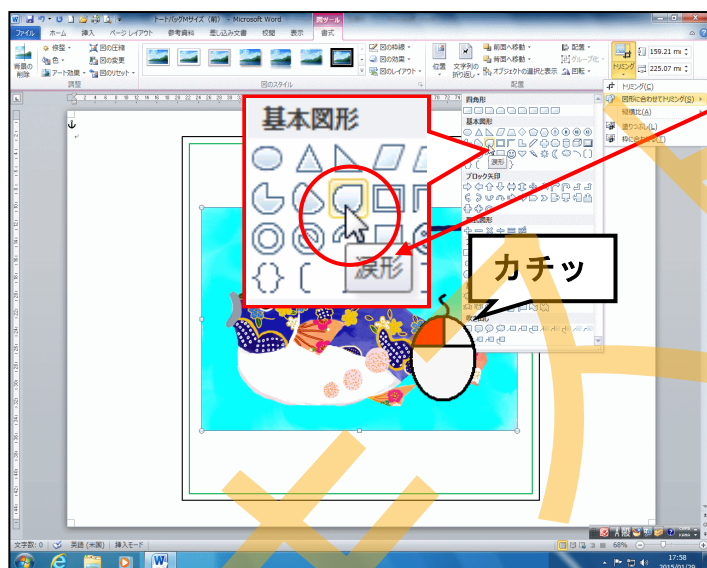
- **【書式】** タブが選択されていない方は、**【書式】** タブをクリックしてから操作しましょう。
- **トリミング** **【トリミング】** ボタン上の ボタンをクリックしないように注意しましょう。

「図形に合わせてトリミング(S)」にポイントします。

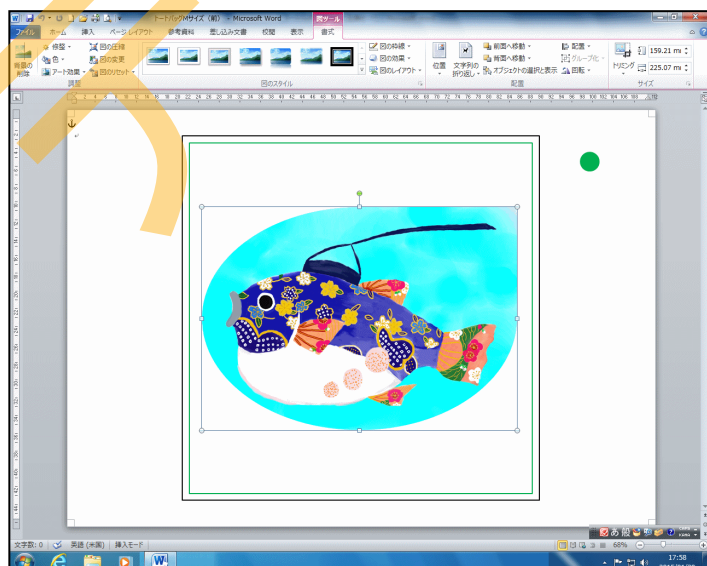


- 「図形に合わせてトリミング(S)」にポイントすると、左のように図形の種類が表示されます。

表示された図形の「基本図形」から「涙形」にポイントし、クリックします。



- 目的の図形にポイントすると、図形の名前がポップヒントとして表示されます。



- 「涙形」をクリックすると、左のようにふぐの画像が切り取られます。

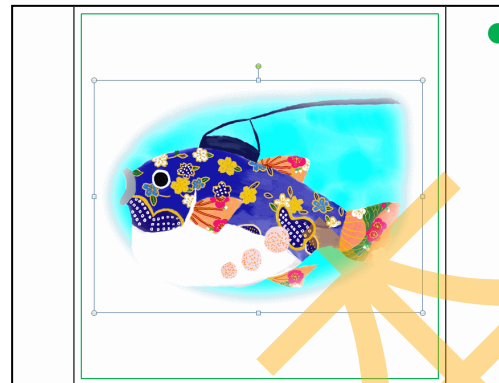
(6) 画像に効果を設定する

◆画像に効果を設定する方法をマスターしましょう。

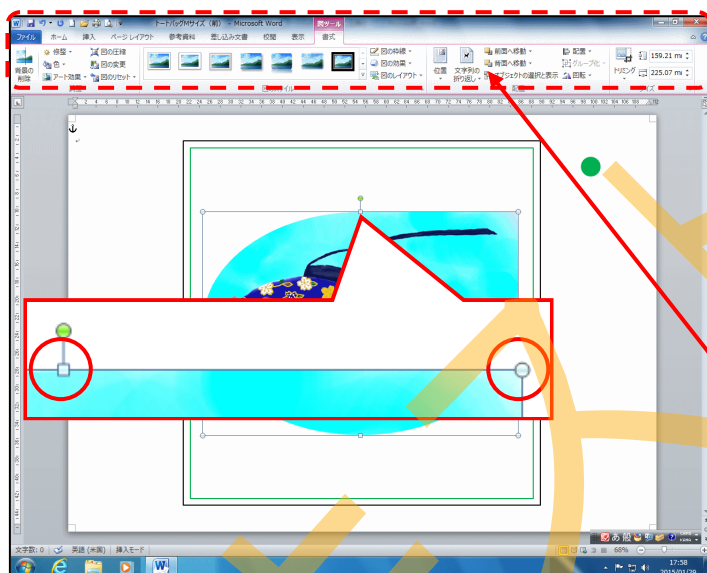
操作前



操作後



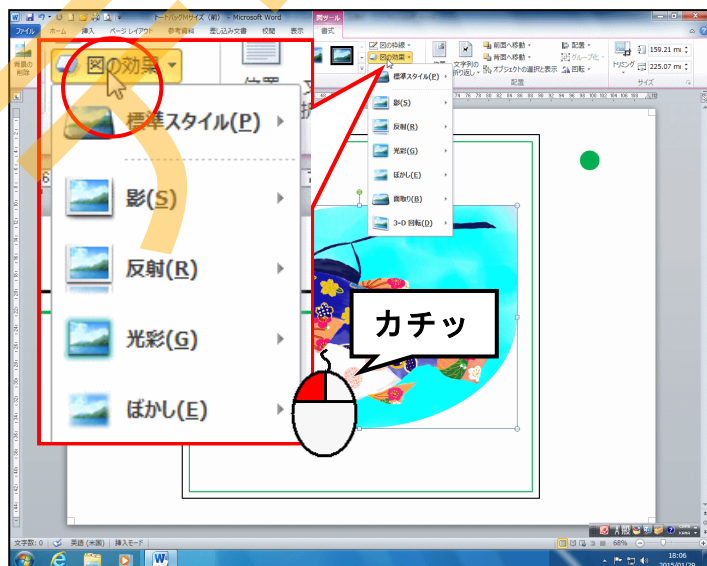
ふぐの画像の周りに  や  が表示されていることを確認します。



注意!

-  や  が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。
- 挿入した画像が選択されていれば、**【書式】** タブが表示されます。

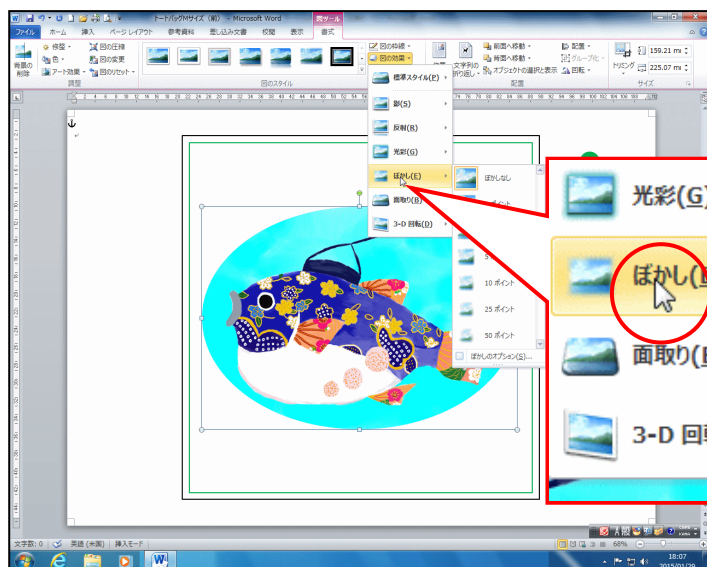
【図のスタイル】 グループにある  **図の効果** ▾ **【図の効果】** ボタンにポイントし、クリックします。



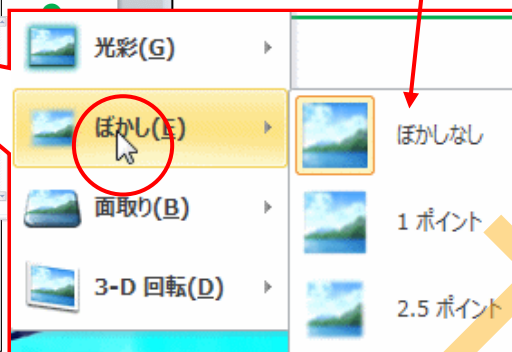
注意!

- **【書式】** タブが選択されていない方は、**【書式】** タブをクリックしてから操作しましょう。

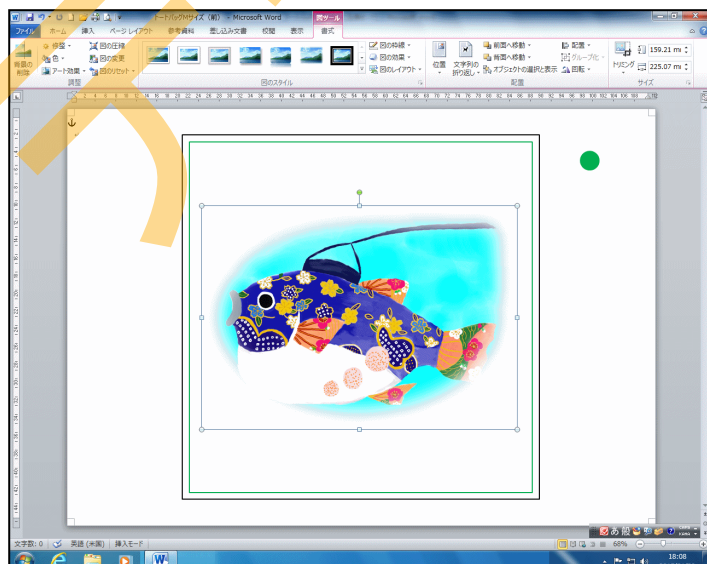
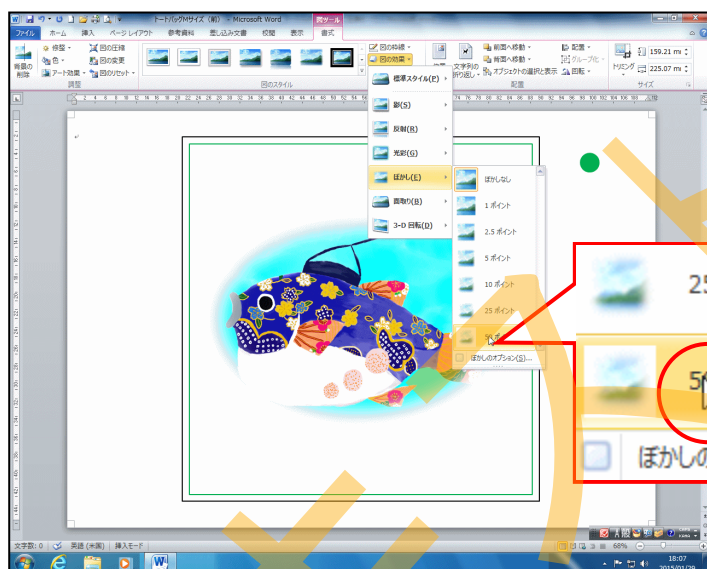
表示された一覧から「ぼかし(E)」にポイントします。



●「ぼかし(E)」にポイントすると、左のようにぼかしの一覧が表示されます。



表示されたぼかしの一覧から「50 ポイント」にポイントし、クリックします。

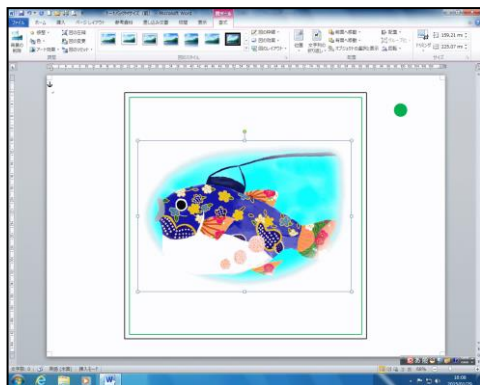


●「50 ポイント」をクリックすると、画像の周りにぼかしの効果が設定されます。

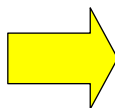
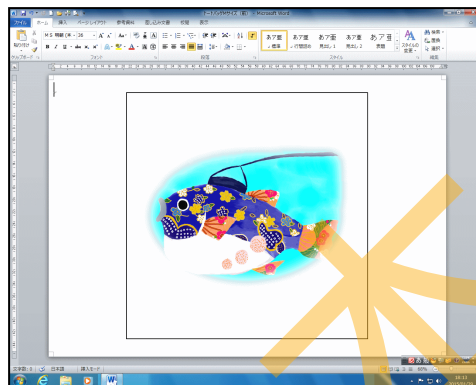
5. 緑枠のガイドを消す

◆緑枠のガイドを消す方法をマスターしましょう。

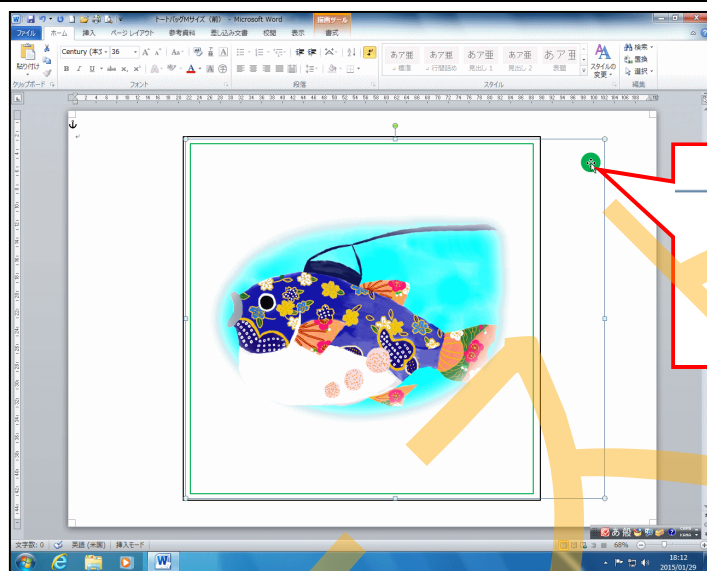
操作前



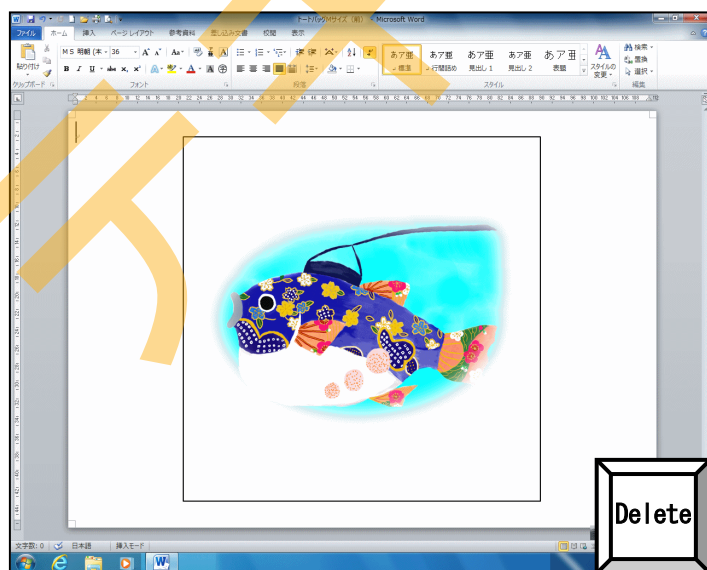
操作後



緑枠のガイドの右にある緑色の ● にポイントし、クリックします。



[Delete] キーを押します。



●残った黒い枠線は、業者がトートバッグに印刷する際に目印となる線ですので、実際には絵柄のみが印刷されます。



これでトートバッグの前面は完成です。

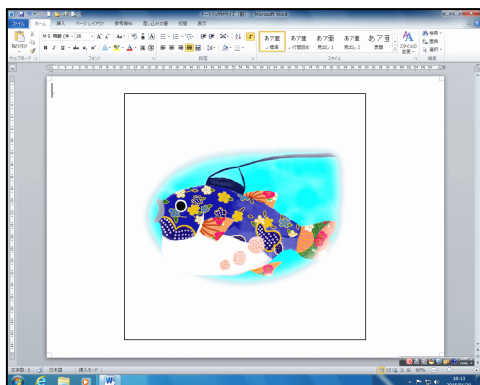
画面左上の [上書き保存] ボタンをクリックして、上書き保存をしておきましょう。

6. PDF 形式で保存する

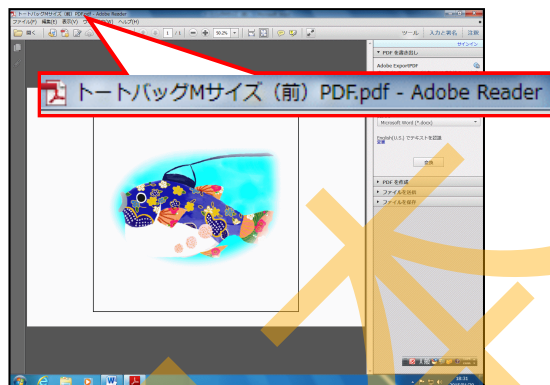
完成したトートバッグを、リムーバブルディスクに「PDF 形式」で保存しましょう。

◆PDF 形式で保存する方法をマスターしましょう。

操作前

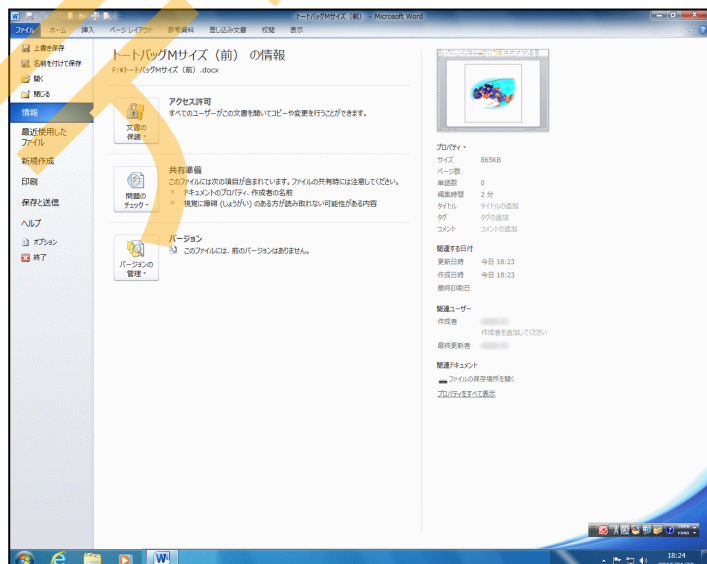
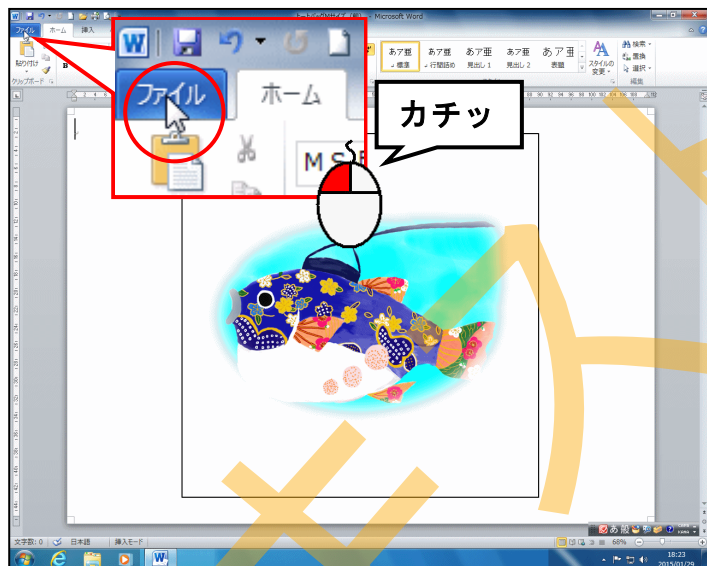


操作後

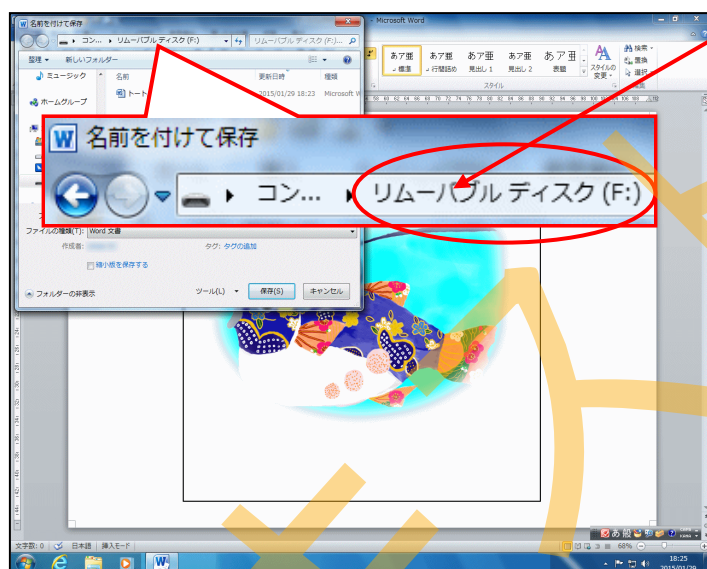
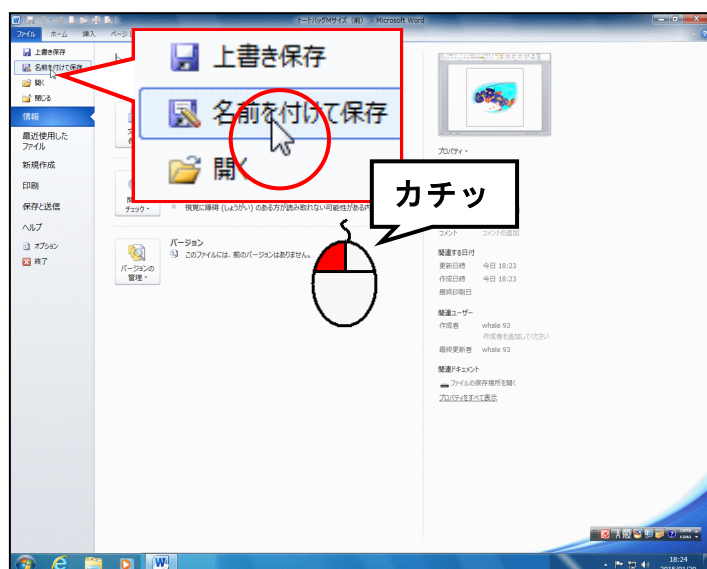


※操作に入る前に、リムーバブルディスクをパソコンに差し込んでください。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



【名前を付けて保存】にポイントし、クリックします。



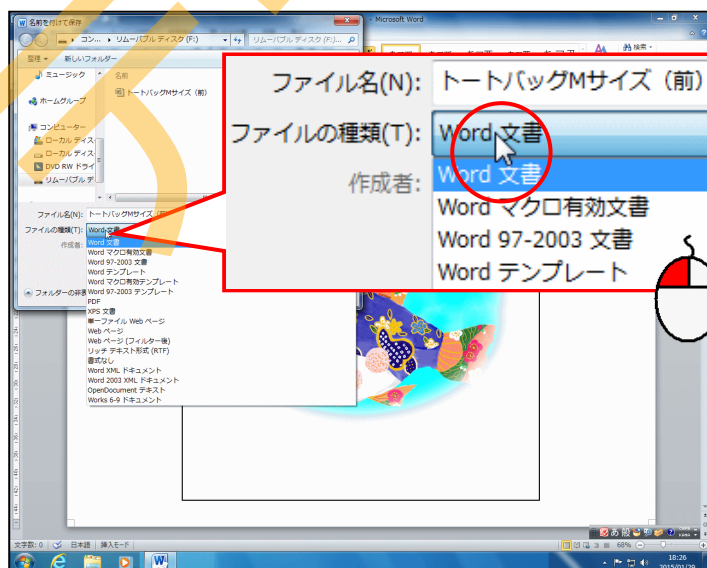
- 【保存先】ボックスに【リムーバブルディスク (F:)】が表示されていることを確認しましょう。表示されていない方は、P8 から P9 の操作をして、【保存先】ボックスに【リムーバブルディスク (F:)】を表示させましょう。

注意!

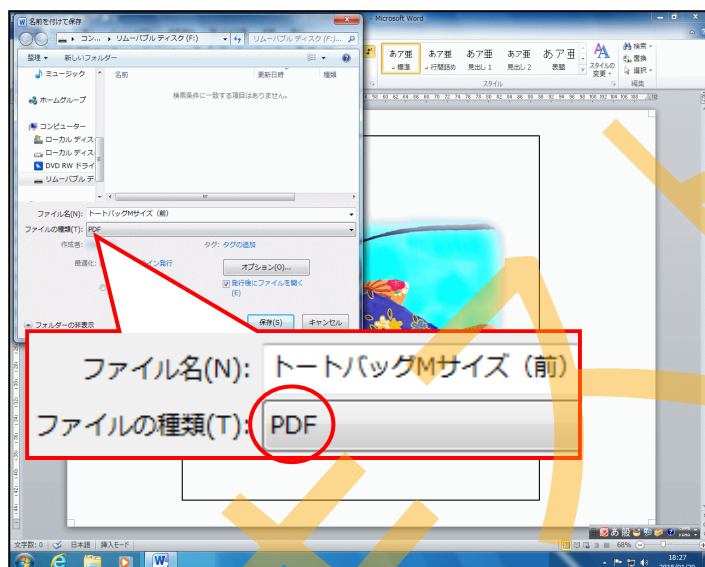
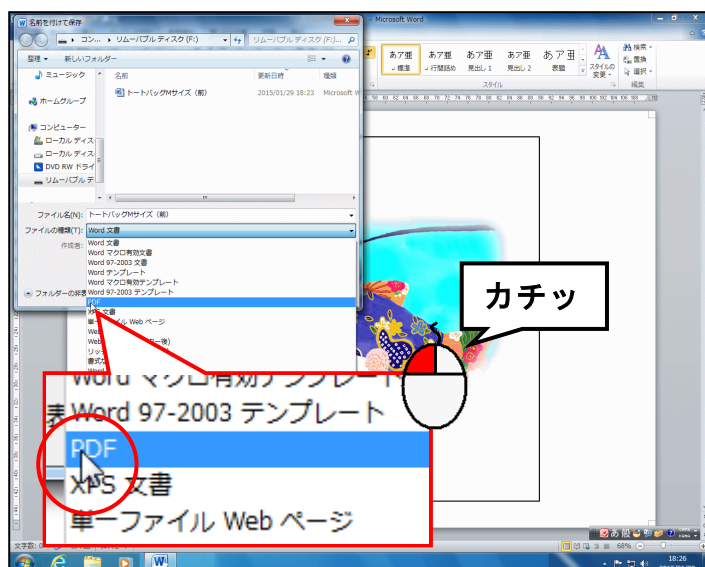
- お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが「(F:)」とは限りません。



【ファイルの種類(T):】の右にある「Word 文書」にポイントし、クリックします。

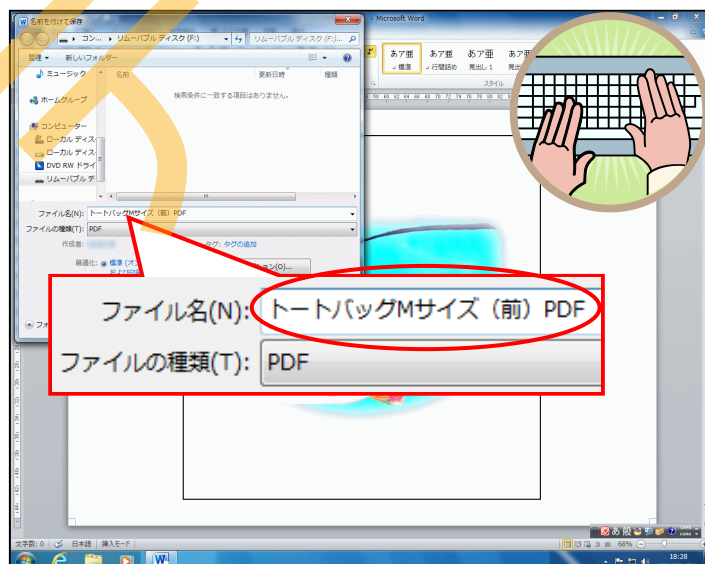


表示された一覧から「PDF」にポイントし、クリックします。



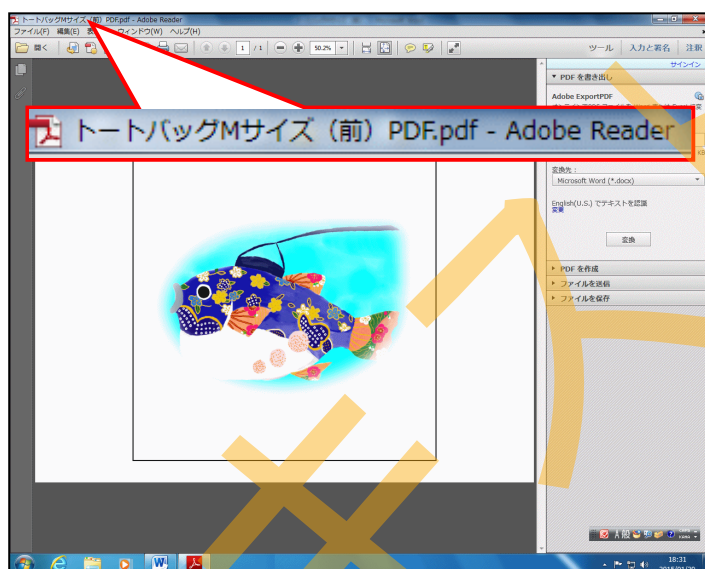
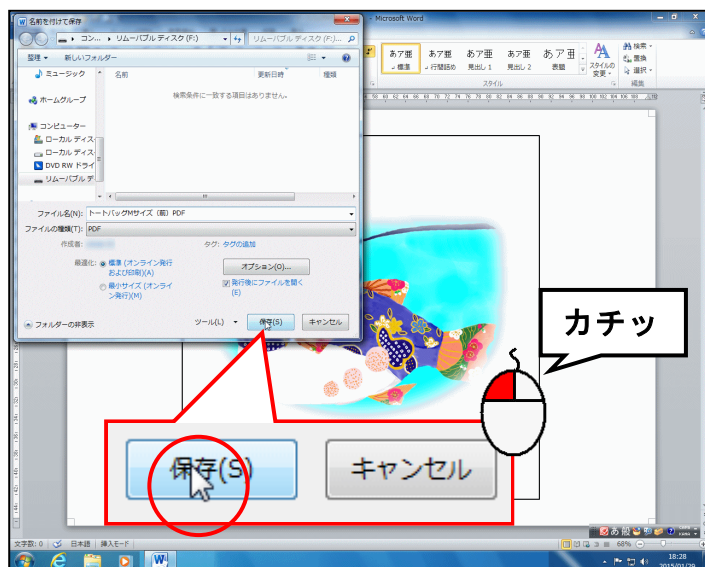
- 「PDF」をクリックすると、[ファイルの種類(T):] ボックスが、「PDF」に変わります。

「ファイル名(N):」ボックスを「トートバッグ M サイズ (前) PDF」に変更して文字を確定します。



- 「ファイル名(N):」ボックスに表示されている「トートバッグ M サイズ (前)」を削除して、「トートバッグ M サイズ (前) PDF」を入力しましょう。

「名前を付けて保存」ダイアログボックスの右下にある「保存(S)」ボタンにポイントし、クリックします。



- 保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わります。
(これでリムーバブルディスクに保存完了です)
- お使いのパソコンによって左と少し違う画面が表示されるかもしれません。

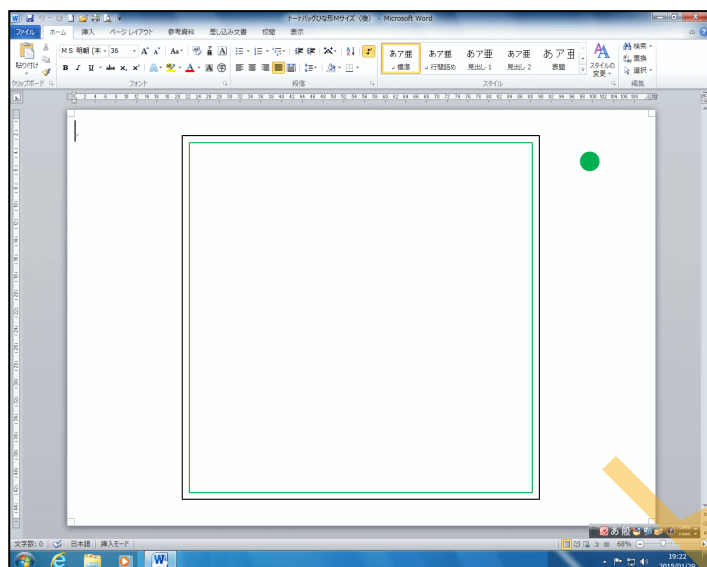
ここまでくれば、すべての画面を閉じておきましょう。

7. 図形を描く

トートバッグの前面が完成したところで、引き続き後ろ面を作成していきましょう。
テキストでは、P2 の完成例のように後ろ面に図形と文字を入れて落款風に仕上げます。

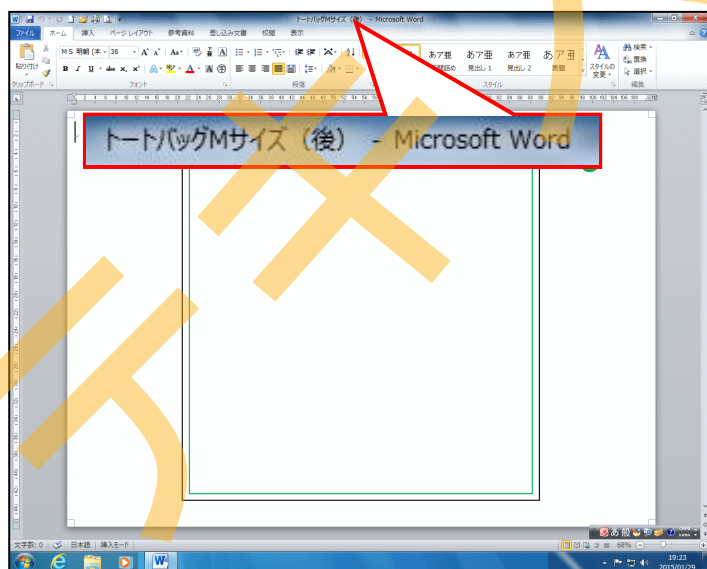
●後ろ面を作成する前準備をしましょう。

ワード画面を開き、「ドキュメント」フォルダーから「トートバッグひな形 M サイズ（後）」を開きましょう。



●ひな形を開く方法を忘れた方は、
P3 1. トートバッグのひな形を開くを参照しましょう。

開いた「トートバッグひな形 M サイズ（後）」をリムーバブルディスクに「トートバッグ M サイズ（後）」という名前で保存しましょう。



●保存方法を忘れた方は、P6 2. トートバッグのひな形をリムーバブルディスクに保存するを参照しましょう。

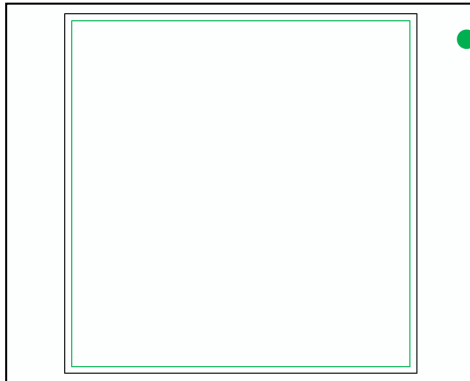
注意!

●表示されている画面の倍率が、左のようにならない方は、[ページ全体を表示(W)] に設定しておきましょう。
表示倍率の変更方法を忘れた方は、
P11 3. 表示倍率の変更を参照しましょう。

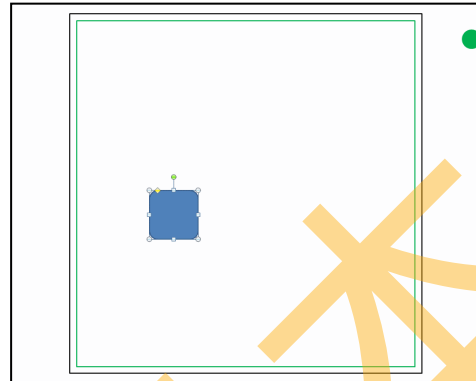
(1) 図形を描く

◆図形を描く方法をマスターしましょう。

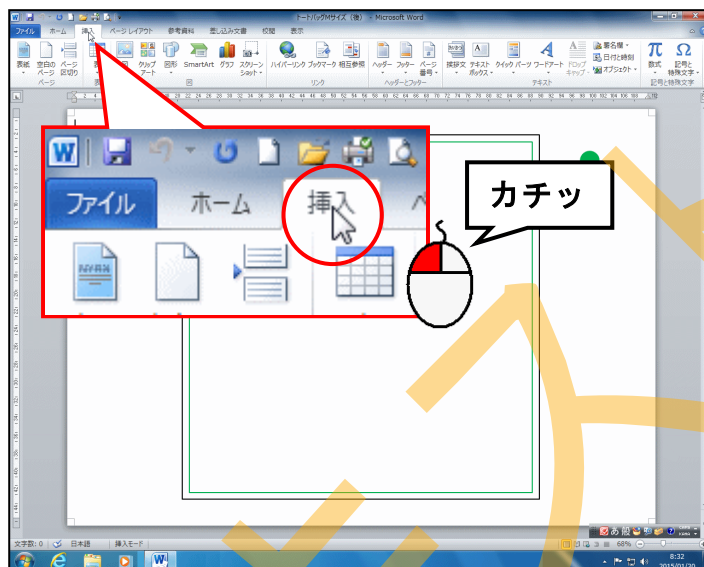
操作前



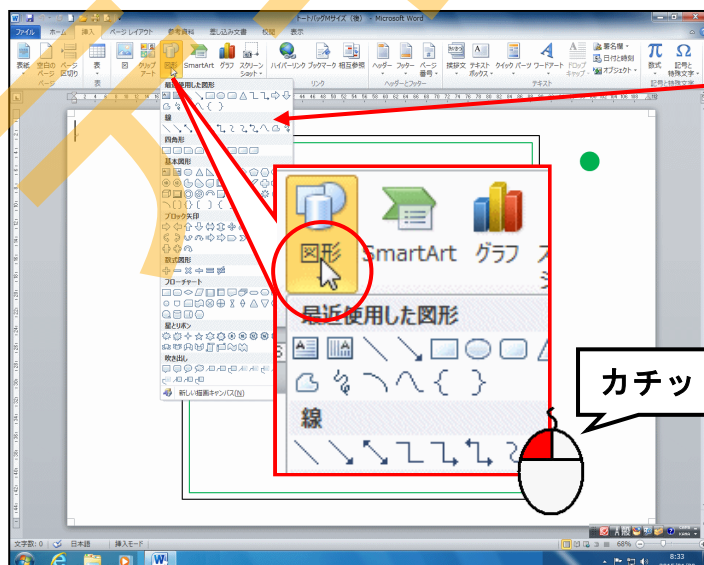
操作後



【挿入】タブにポイントし、クリックします。

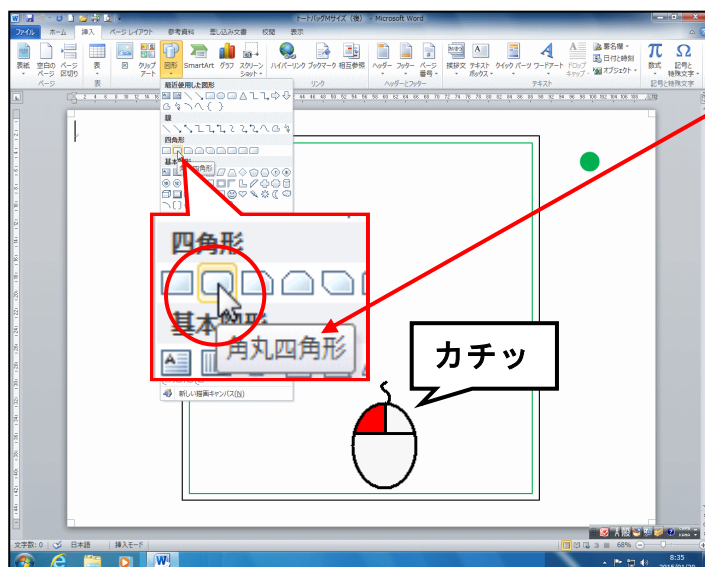


【図】グループにある【図形】ボタンにポイントし、クリックします。

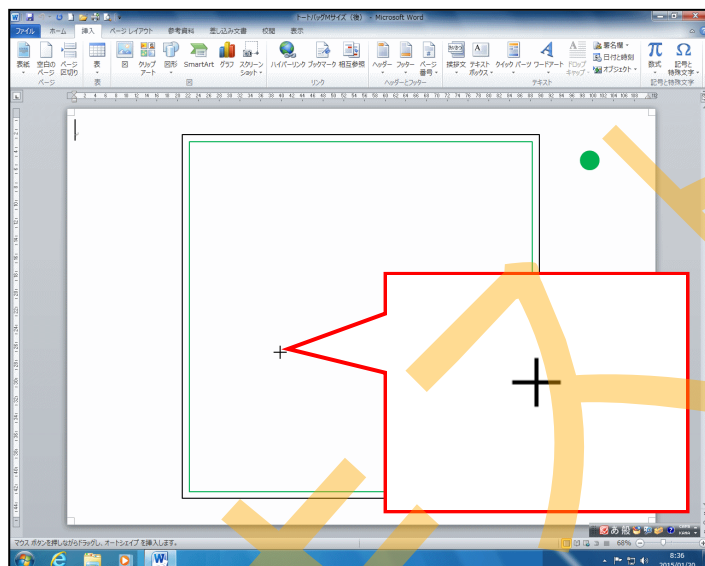


●【図形】ボタンをクリックすると、左のように図形の一覧が表示されます。

表示された図形の「四角形」から  「角丸四角形」にポイントし、クリックします。

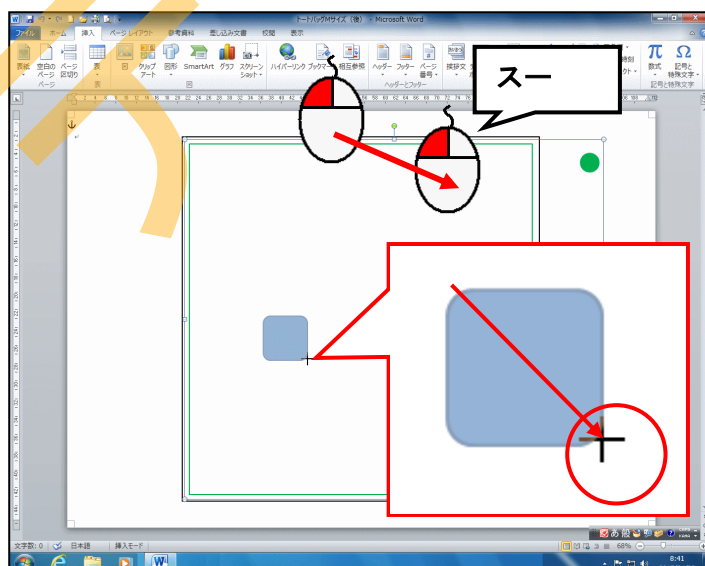


- 目的の図形にポイントすると、図形の名前がポップヒントとして表示されます。

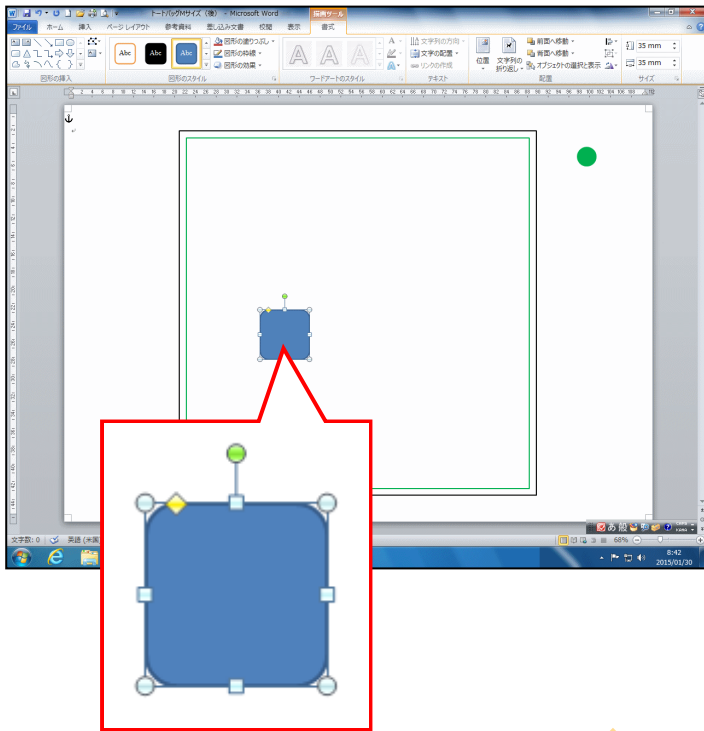


-  「角丸四角形」をクリックし、マウスポインターを文書内に移動すると  の状態になります。

マウスポインターが  になっていることを確認して、下図を参考に右下に向かってドラッグします。



- 左ボタンを押した位置が図形を描くときの始点（描く図形の左上）、左ボタンを離れた位置が図形の終点（描く図形の右下）になります。
- 縦と横の長さが同じ正角丸四角形を描きたい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。

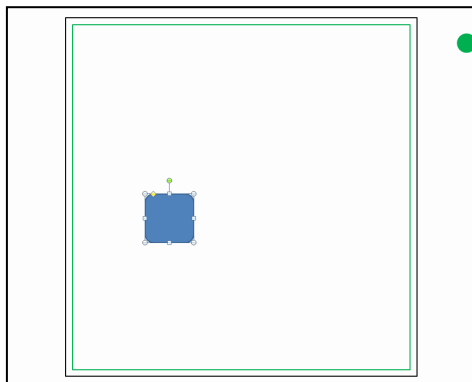


(2) 図形の塗りつぶしの色を設定する

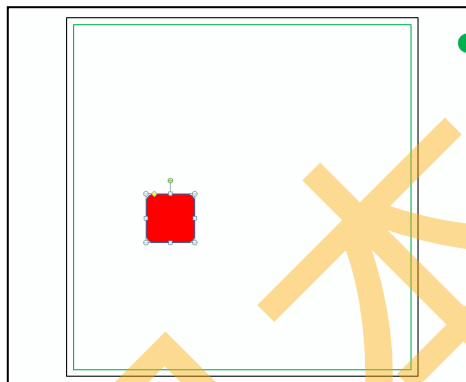
図形が描けたところで、塗りつぶしの色を設定しましょう。

◆図形の塗りつぶしの色を設定する方法をマスターしましょう。

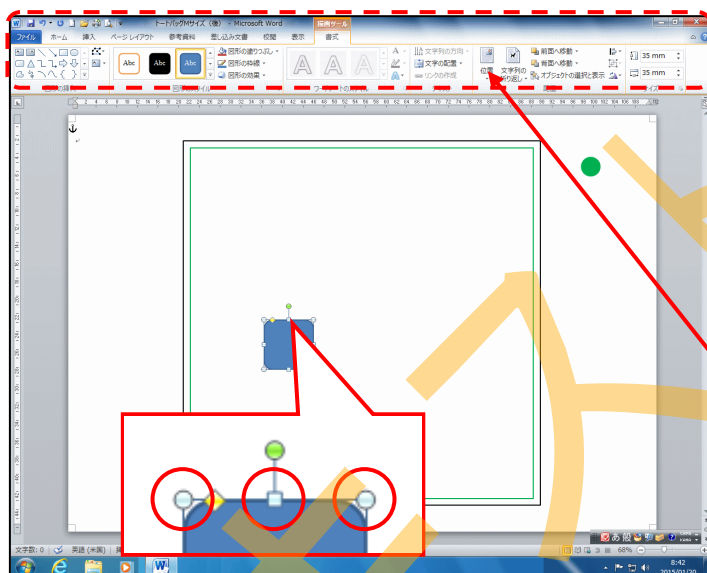
操作前



操作後



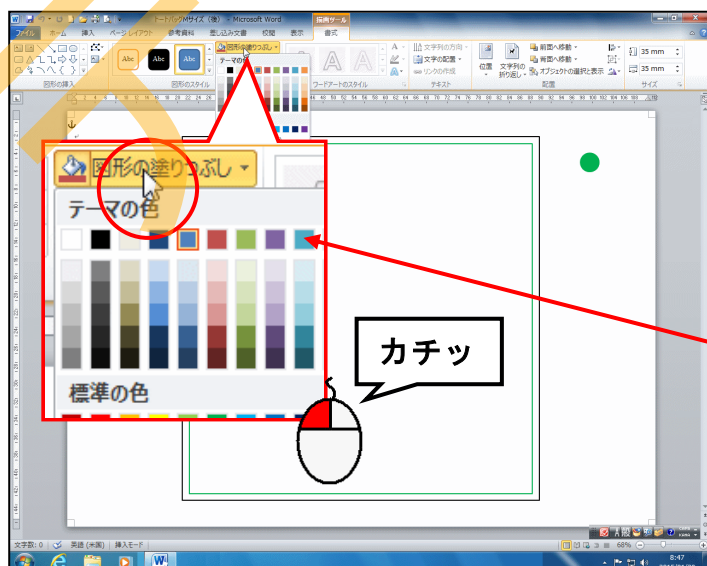
描いた図形の周りに  や  が表示されていることを確認します。



注意!

-  や  が表示されていれば、描いた図形が選択されています。表示されていなければ、描いた図形にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。
- 挿入した図形が選択されていれば、**【書式】タブ**が表示されます。

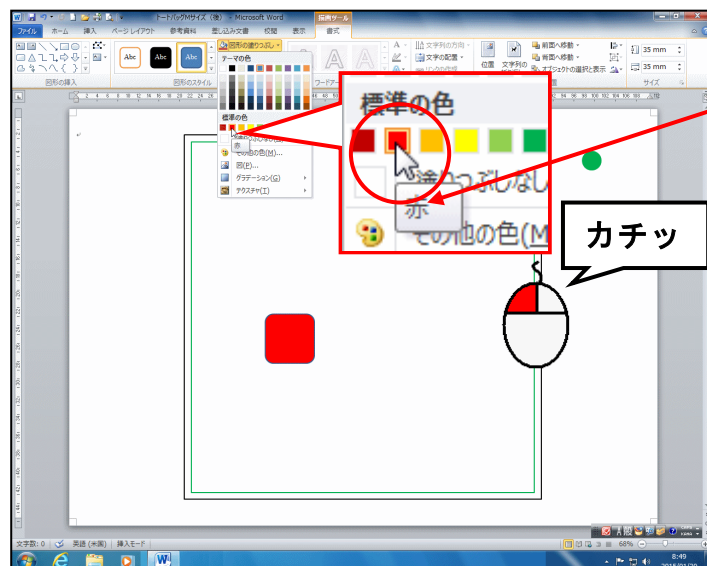
【図形のスタイル】グループにある  図形の塗りつぶし・【図形の塗りつぶし】ボタンにポイントし、クリックします。



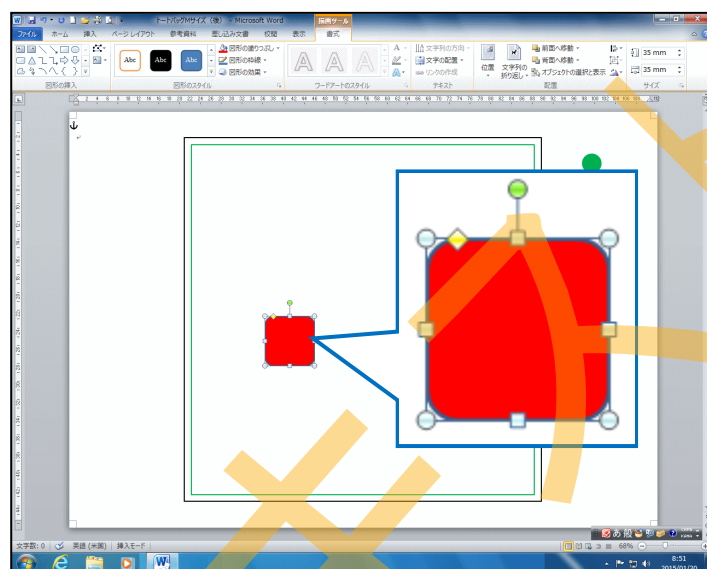
注意!

-  をクリックすると、塗りつぶしに関するメニューが表示されないため、**図形の塗りつぶし・**をクリックしましょう。
- **図形の塗りつぶし・**をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

表示された色の一覧から「赤」にポイントし、クリックします。



●目的の色にポイントすると、色の名前がポップヒントとして表示されます。

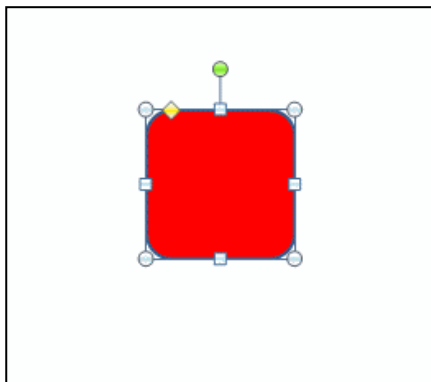


(3) 図形の線の色を設定する

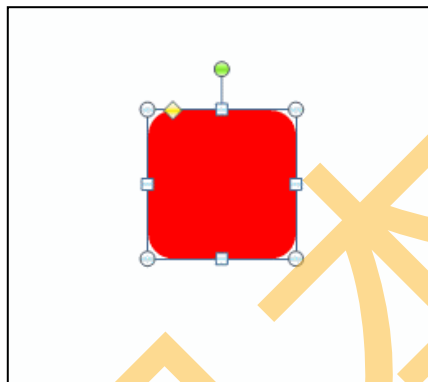
塗りつぶしの色が設定できたところで、線の色を設定しましょう。

◆図形の線の色を設定する方法をマスターしましょう。

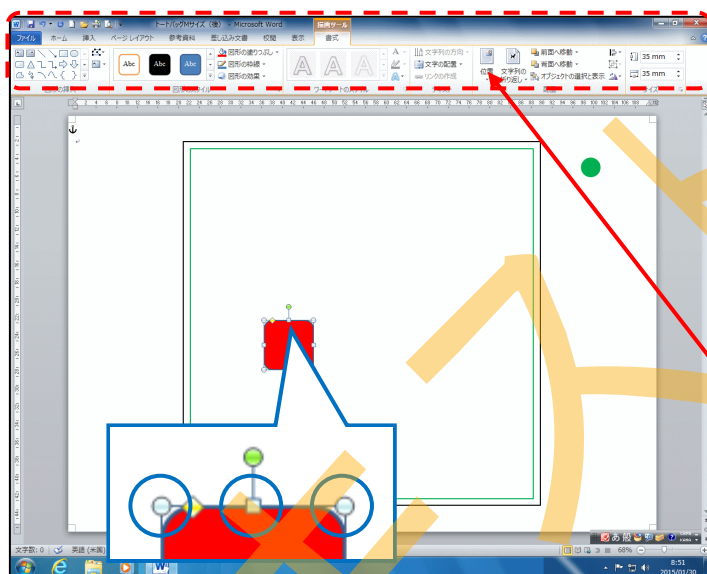
操作前



操作後



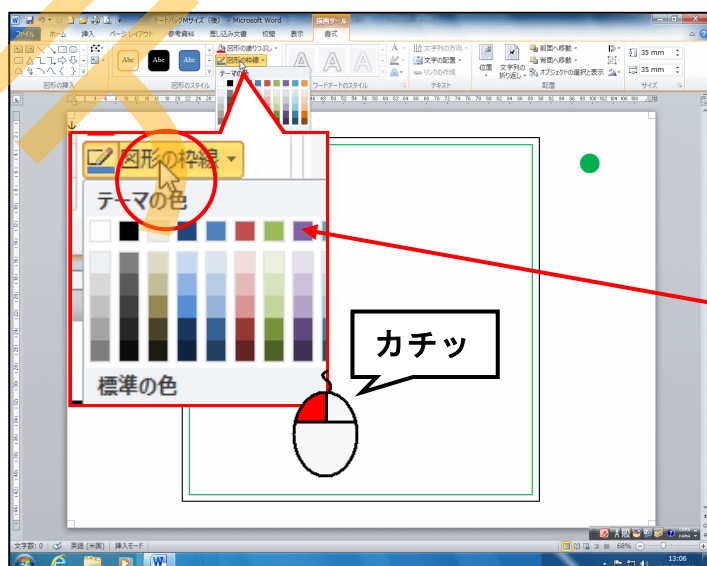
描いた図形の周りに  や  が表示されていることを確認します。



注意!

-  や  が表示されていれば、描いた図形が選択されています。表示されていなければ、描いた図形にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。
- 挿入した図形が選択されていれば、[書式] タブが表示されます。

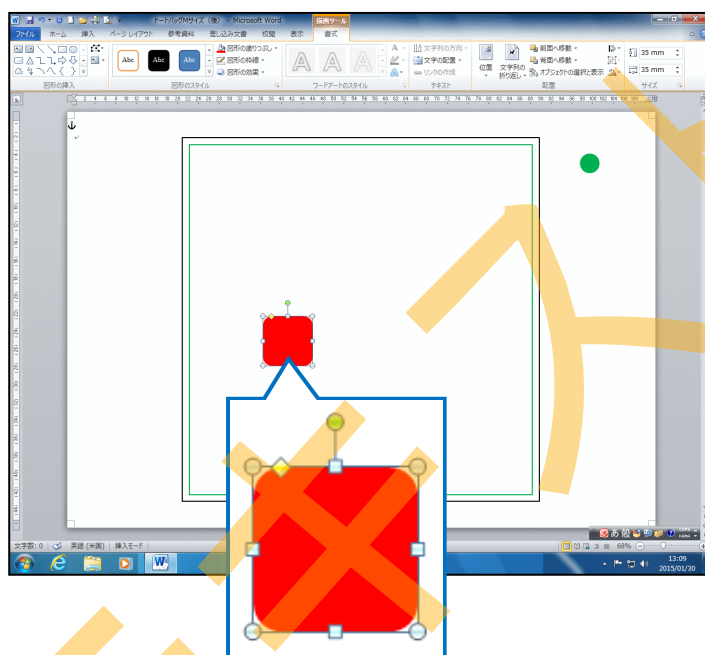
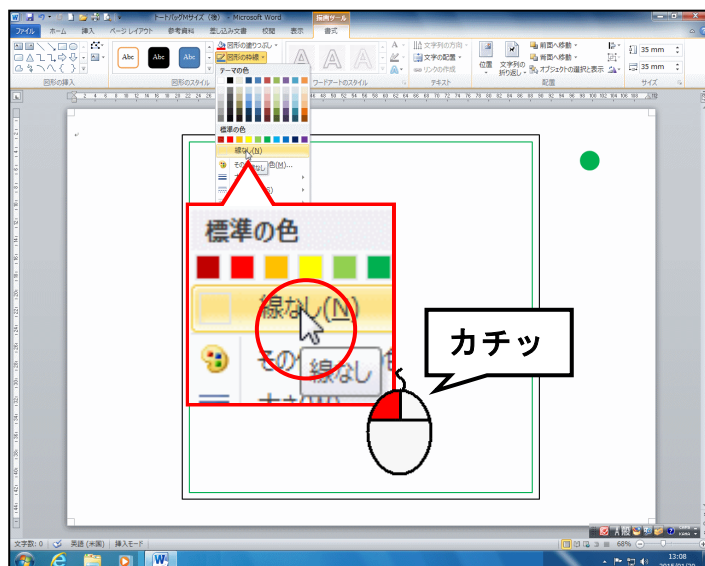
[図形のスタイル] グループにある  図形の枠線 - [図形の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

-  をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないの、図形の枠線 - をクリックしましょう。
-  図形の枠線 - をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

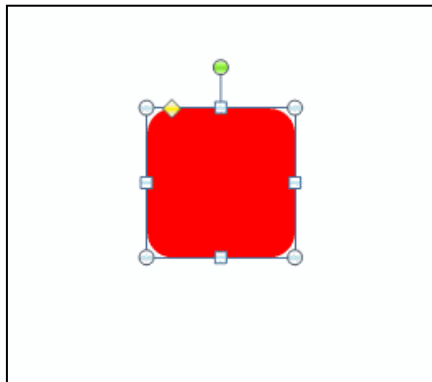
表示された色の一覧から「線なし(N)」にポイントし、クリックします。



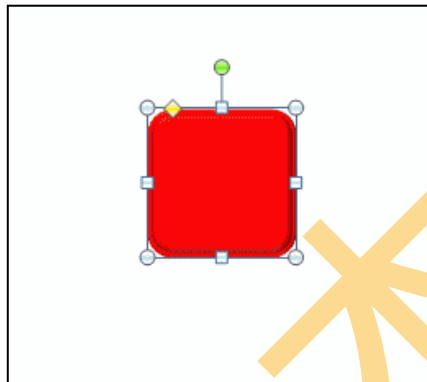
(4) 図形に効果を設定する

◆図形に効果を設定する方法をマスターしましょう。

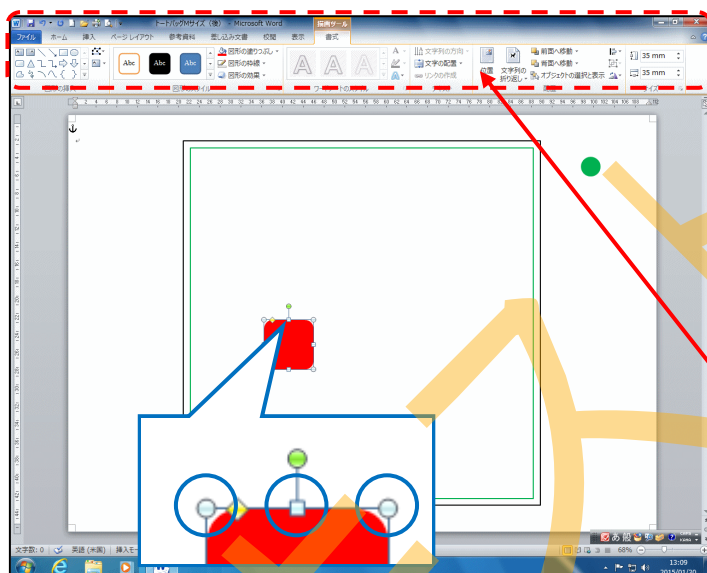
操作前



操作後



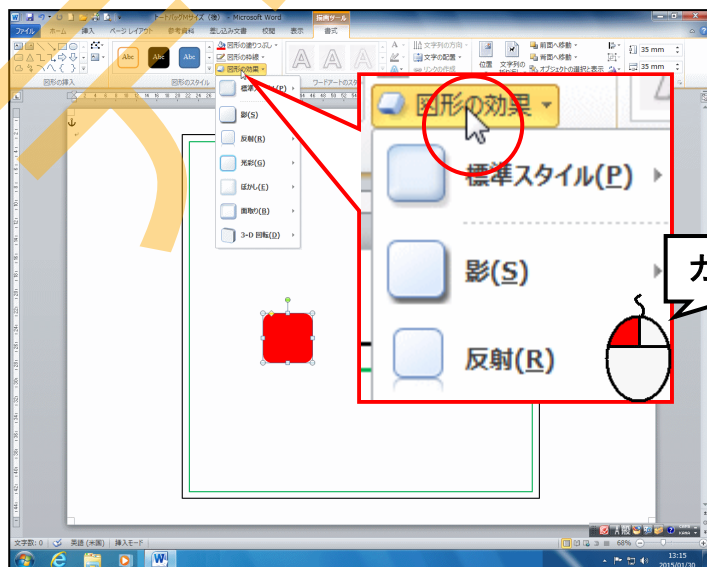
描いた図形の周りに  や  が表示されていることを確認します。



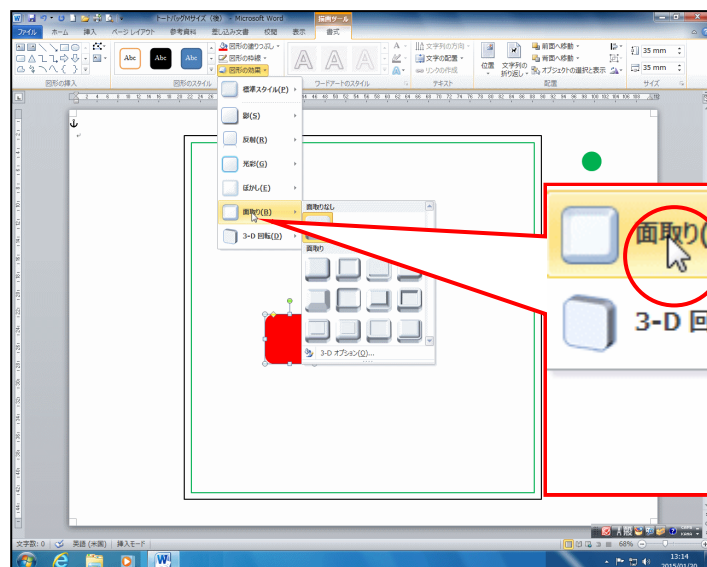
注意!

-  や  が表示されていれば、描いた図形が選択されています。表示されていなければ、描いた図形にポイントし、マウスポインターが  になったところでクリックします。
- 挿入した図形が選択されていれば、**【書式】** タブが表示されます。

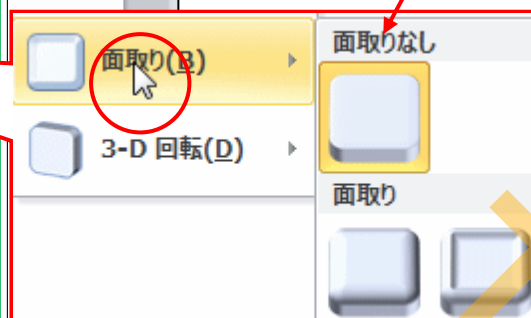
「図形のスタイル」グループにある  図形の効果 ▾ 「図形の効果」ボタンにポイントし、クリックします。



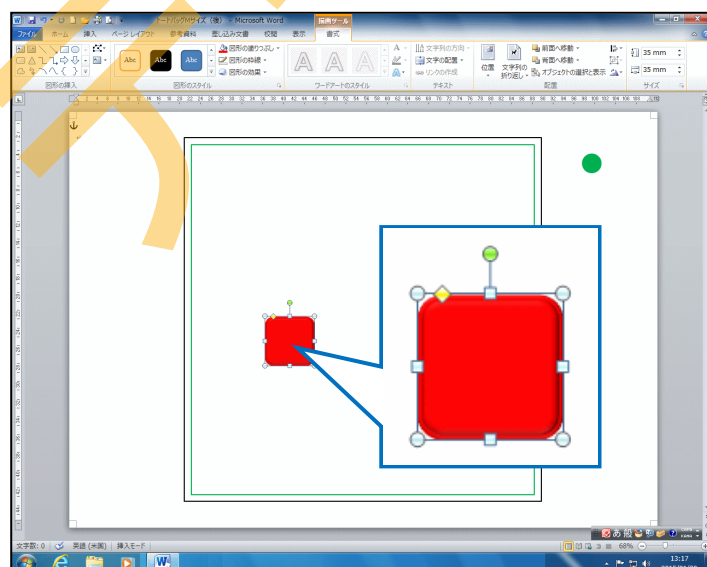
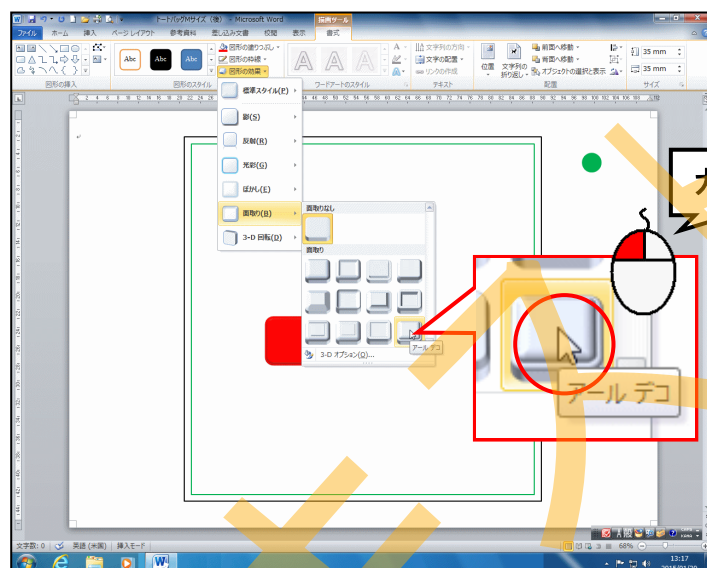
表示された一覧から「面取り (B)」にポイントします。



●「面取り (B)」にポイントすると、左のように面取りの一覧が表示されます。

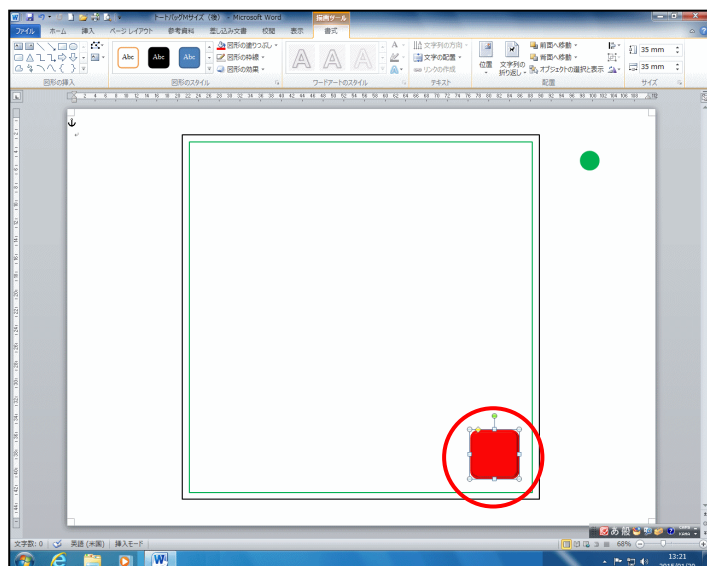


表示された面取りの一覧から「アール デコ」にポイントし、クリックします。



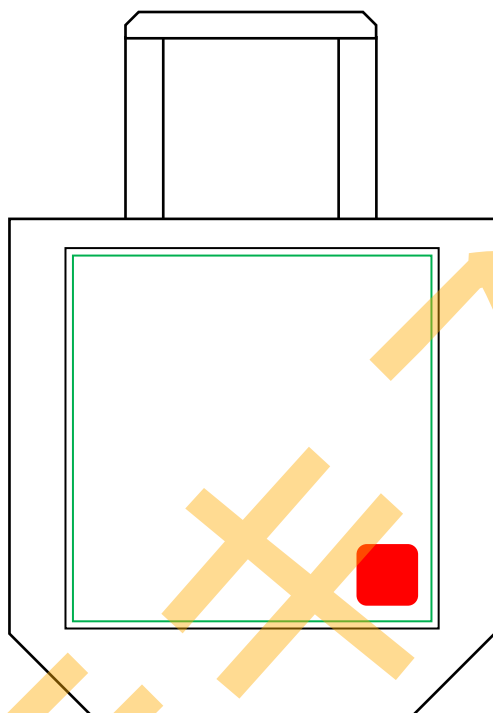
●「アール デコ」をクリックすると、図形に面取りの効果が設定されます。

下図を参考に図形を移動しておきましょう。



●図形の移動方法を忘れた方は、
P21（４）画像を移動するを参照し
ましょう。

このテキストでは、下図のようにバッグの右下に図形と文字を入れて落款風に仕上げますが、皆さんはお好きな位置に配置しましょう。



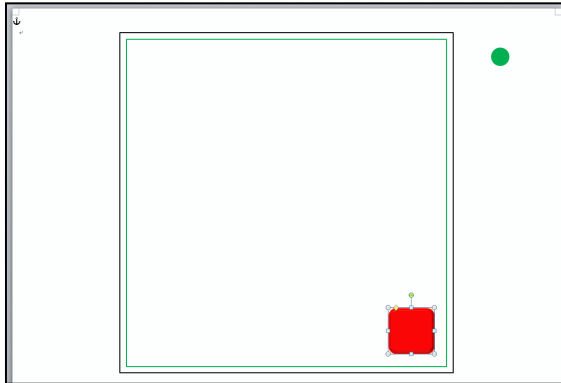
ここまでくれば、画面左上の  [上書き保存] ボタンをクリックして、上書き保存をしておきましょう。

8. ワードアートを挿入する

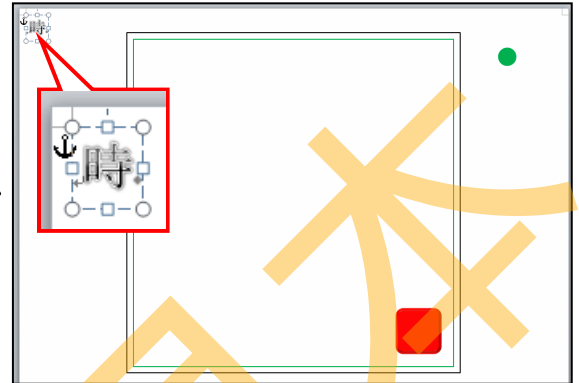
(1) ワードアートを挿入する

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

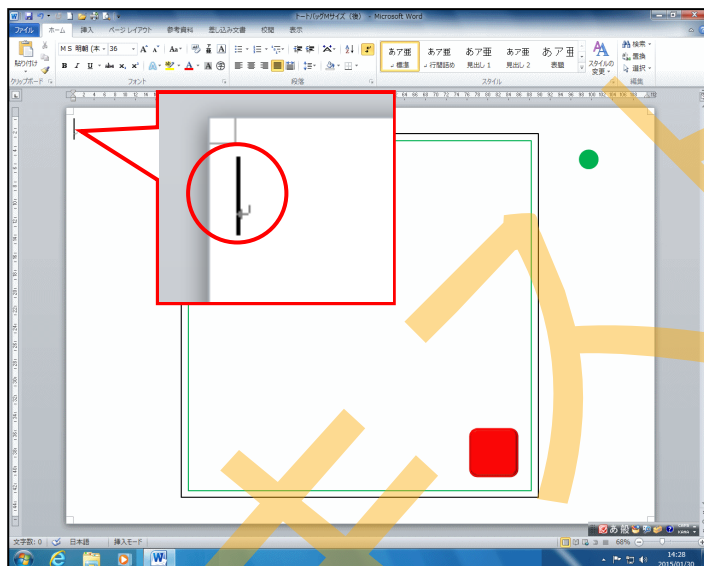
操作前



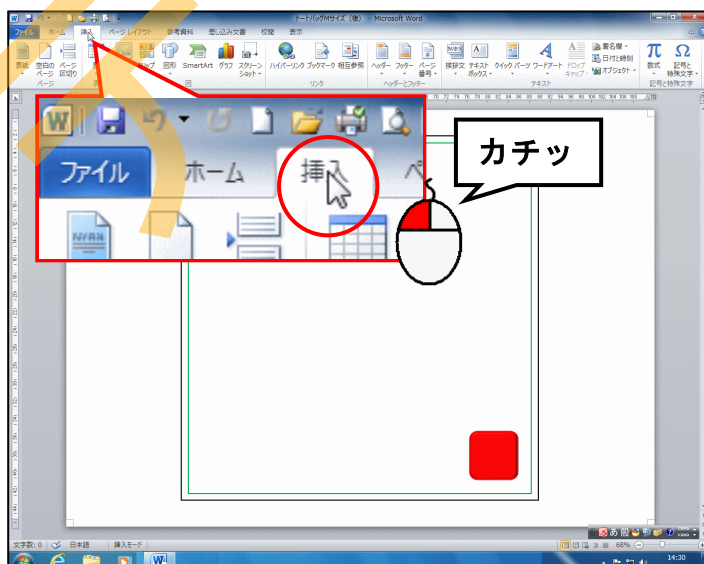
操作後



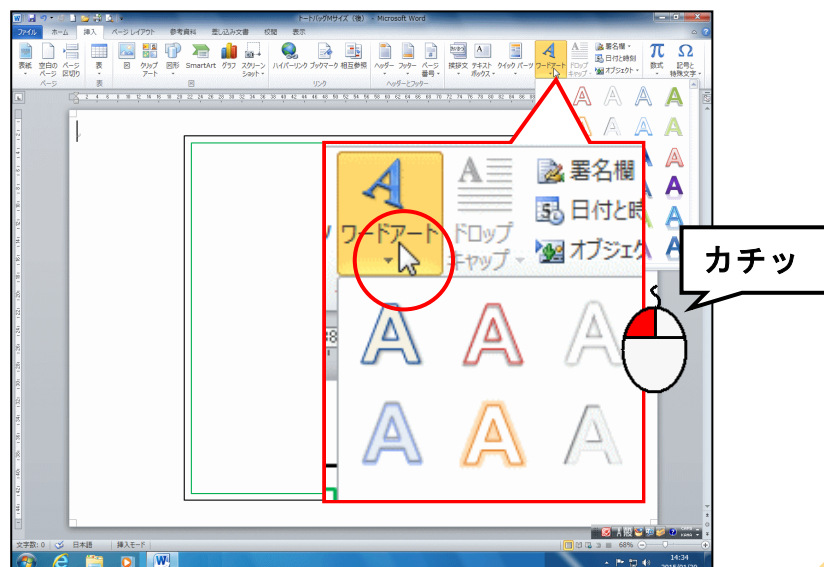
先頭にカーソルを移動します。



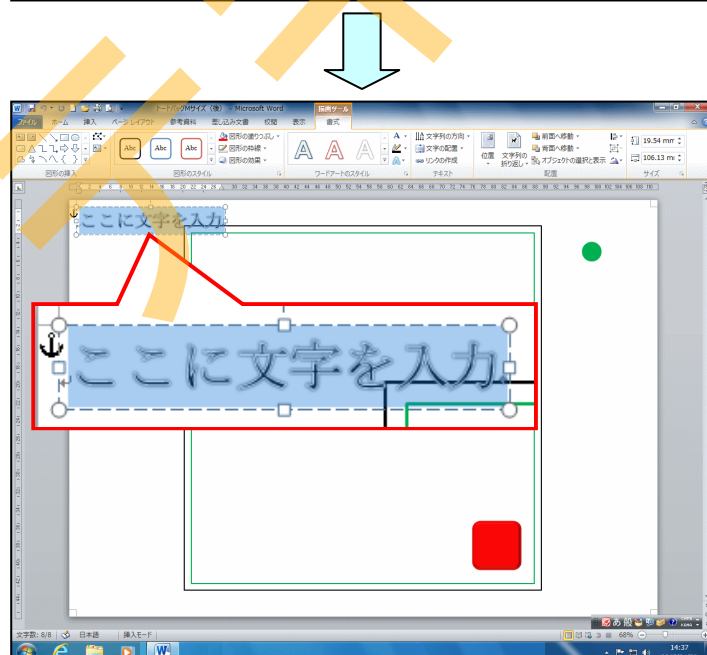
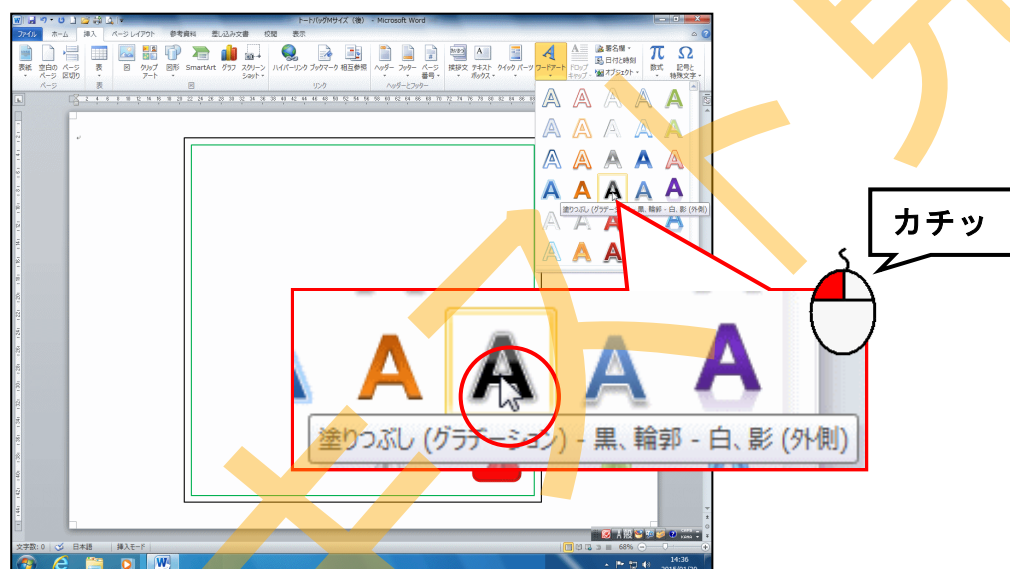
【挿入】タブにポイントし、クリックします。



「テキスト」グループにある  「ワードアートの挿入」 ボタンにポイントし、クリックします。



表示されたワードアートの一覧から「塗りつぶし（グラデーション）-黒、輪郭-白、影（外側）」にポイントし、クリックします。

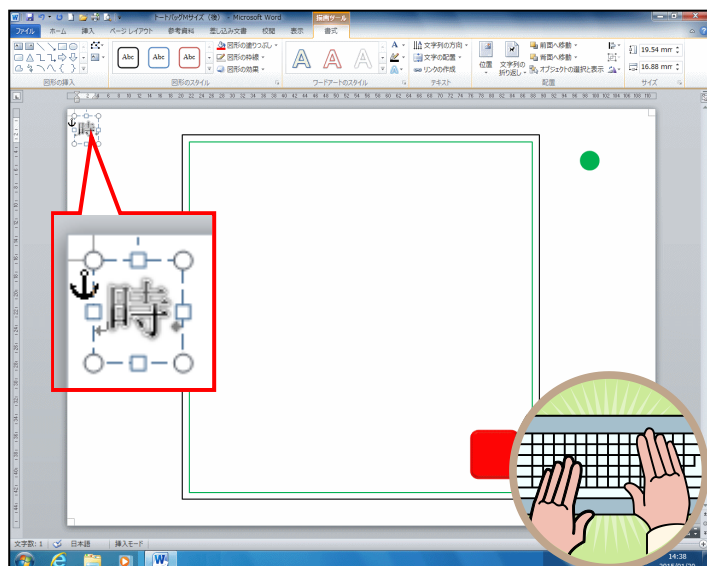


- 「塗りつぶし（グラデーション）-黒、輪郭-白、影（外側）」をクリックすると、ワードアートが挿入され、「ここに文字を入力」が選択された状態になっています。

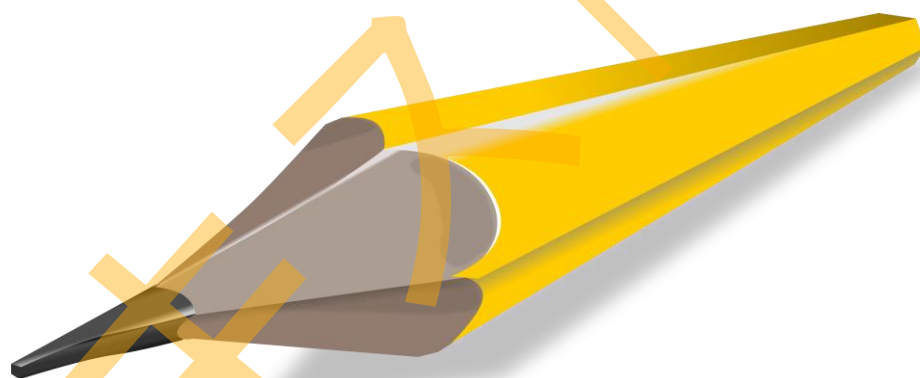
注意!

- 次の操作で文字を入力しますので、選択を解除しないように注意しましょう。

「時」と入力しましょう。



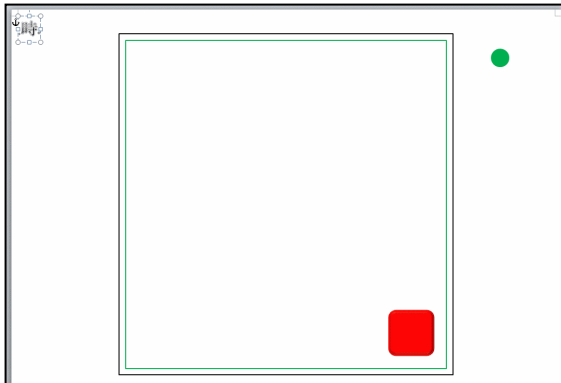
●テキストでは、「時」と入力していますが、皆さんは、好きな文字を入力するようにしましょう。



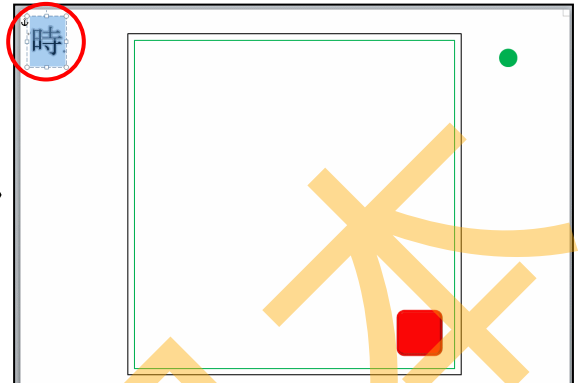
(2) ワードアートのフォントサイズ（文字の大きさ）を変更する

◆ワードアートのフォントサイズ（文字の大きさ）を変更する方法をマスターしましょう。

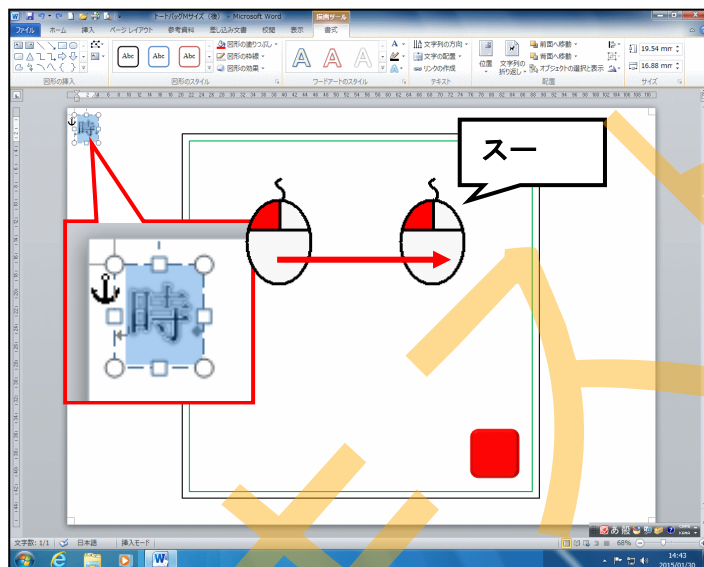
操作前



操作後



挿入したワードアート「時」をドラッグして選択します。



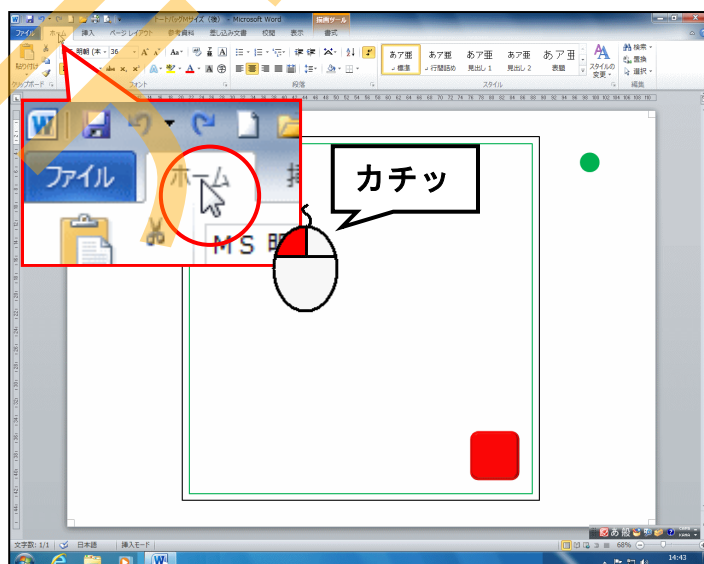
●「時」の前にポイントし、



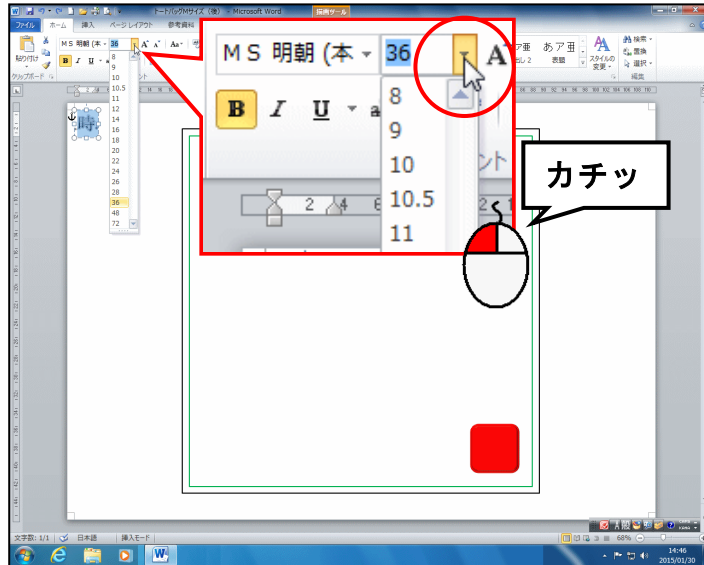
右にドラッグして選択します。



[ホーム] タブにポイントし、クリックします。

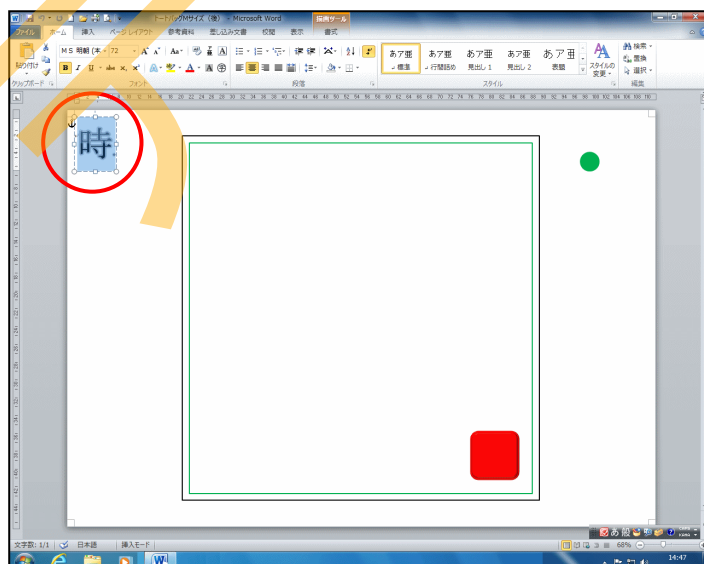
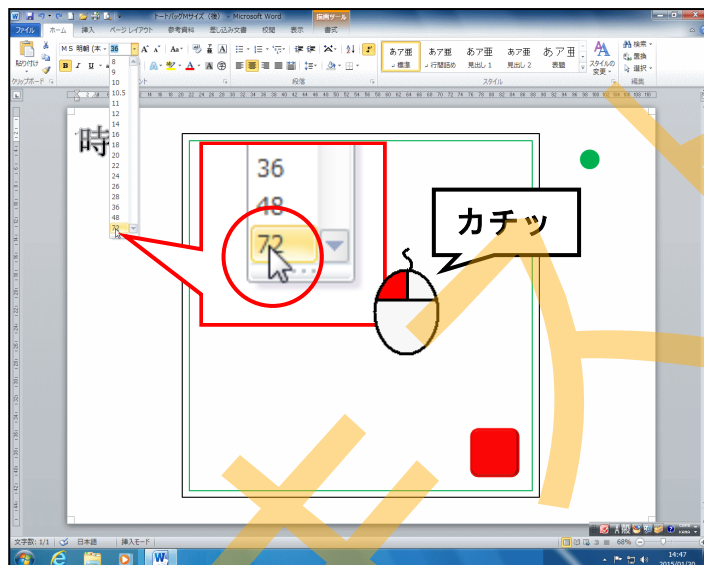


「[フォント] グループにある 36 [フォントサイズ] ボックスの▼にポイントし、クリックします。」



- 36 [フォントサイズ] ボックスの▼をクリックすると、フォントサイズの一覧が表示されます。

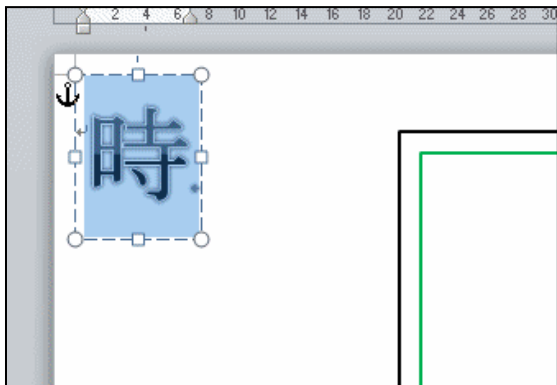
「72」にポイントし、クリックします。



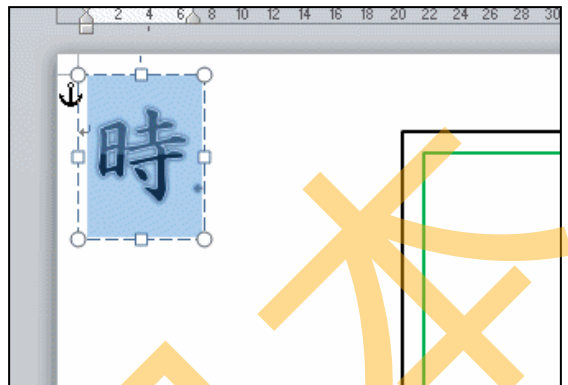
(3) ワードアートのフォント（文字の書体）を変更する

◆ワードアートのフォント（文字の書体）を変更する方法をマスターしましょう。

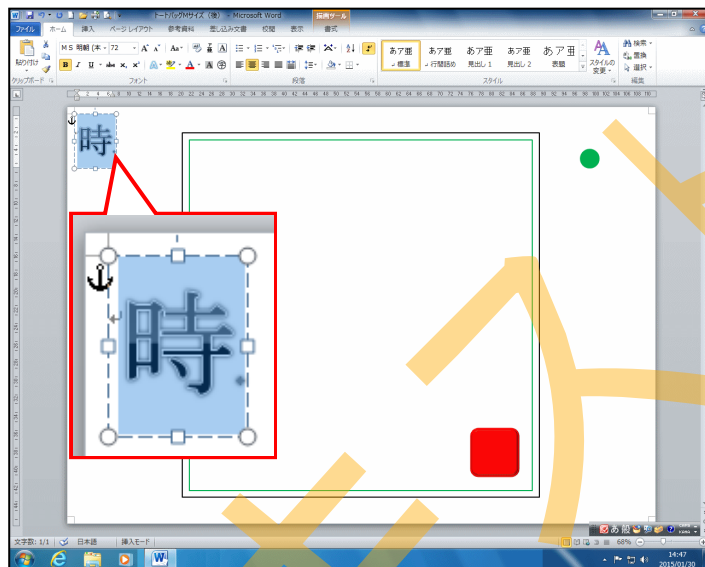
操作前



操作後

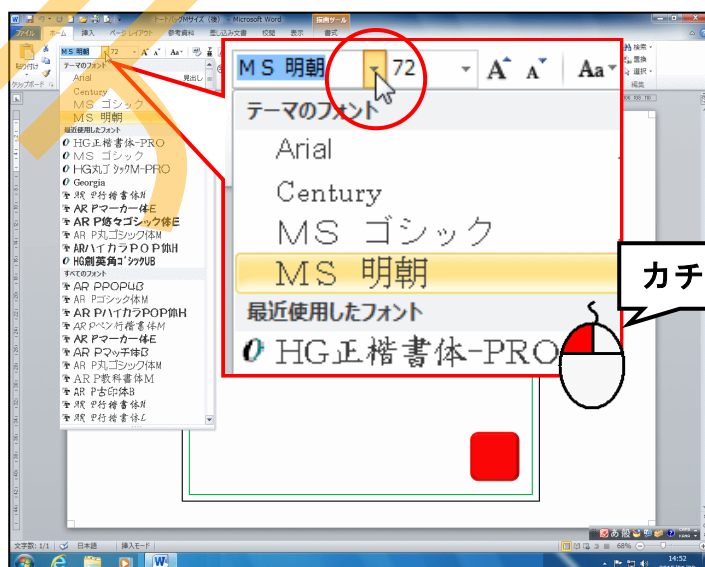


ワードアート「時」が選択されていることを確認します。



●ワードアート「時」が選択されていない方は、ドラッグして選択しておきましょう。

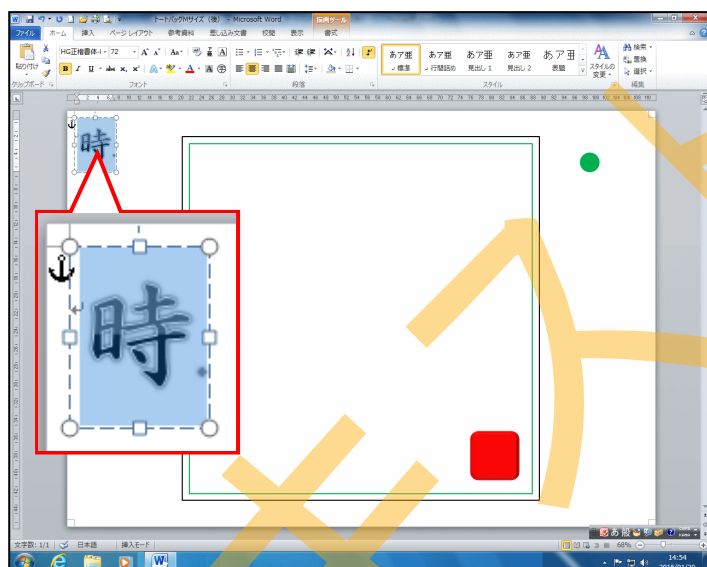
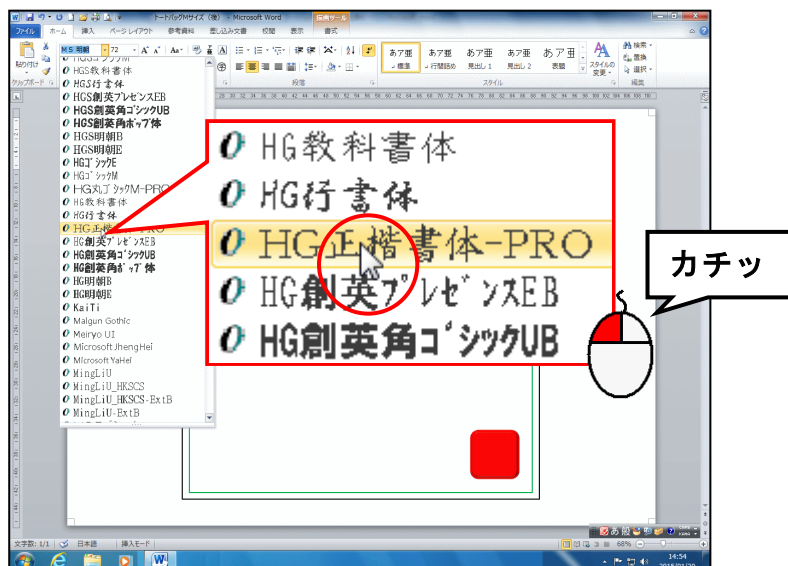
【フォント】グループにある MS 明朝 (本) 【フォント】ボックスの▼にポイントし、クリックします。



● MS 明朝 (本) 【フォント】ボックスの▼をクリックすると、フォント（文字の書体）の一覧が表示されます。

カチッ

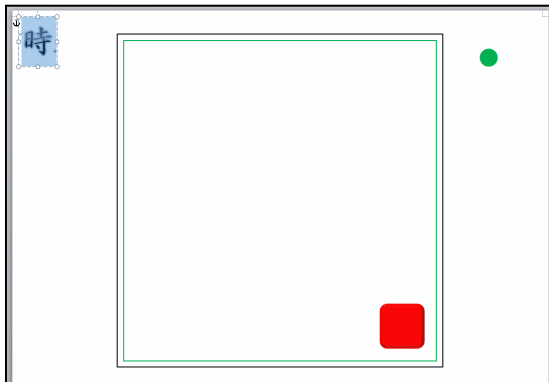
表示された一覧から「HG 正楷書体-PRO」にポイントし、クリックします。



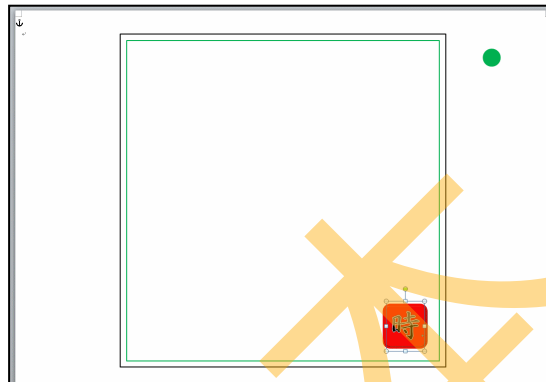
(4) ワードアートの移動

◆ワードアートを移動する方法をマスターしましょう。

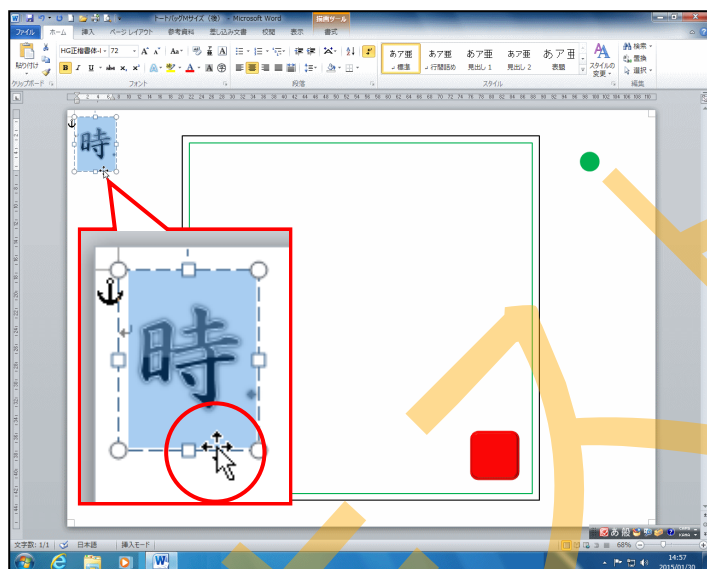
操作前



操作後

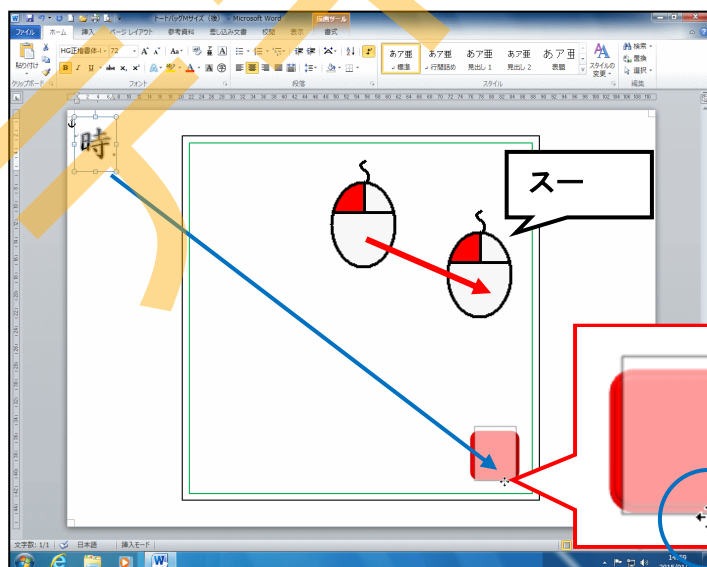


ワードアート「時」の周りに表示されている点線にポイントします。

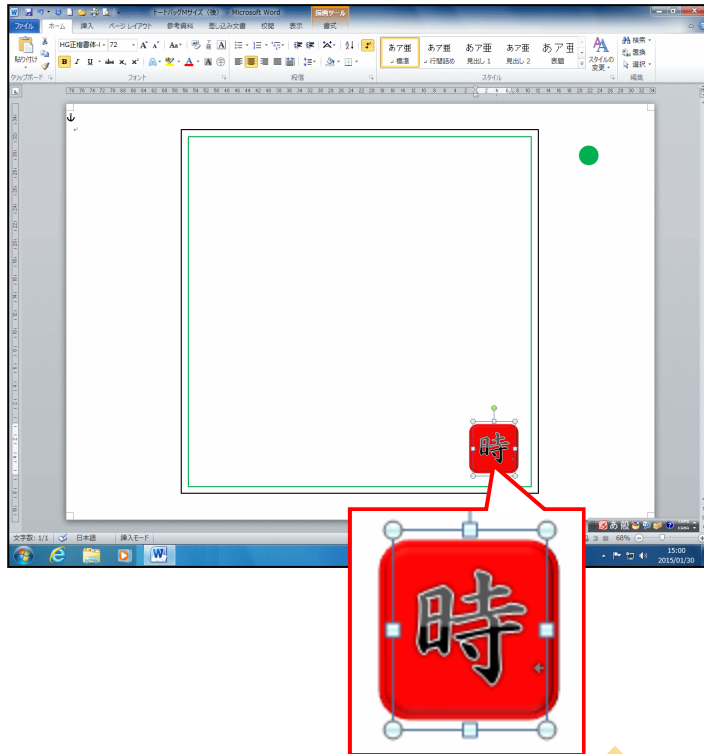


●周りの点線にポイントすると、マウスポインターが  になります。

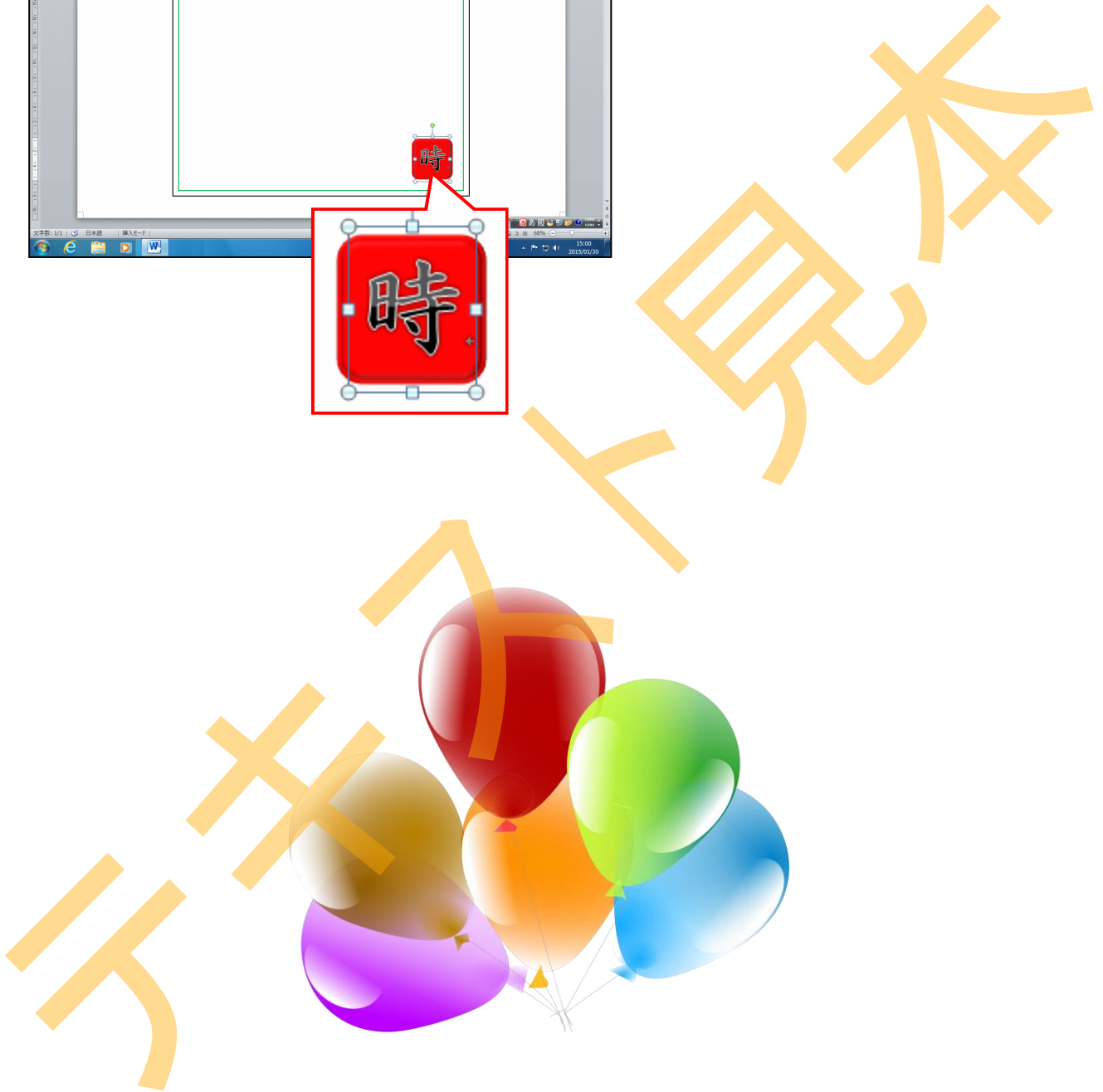
そのまま下図を参考にドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は、 になっています。



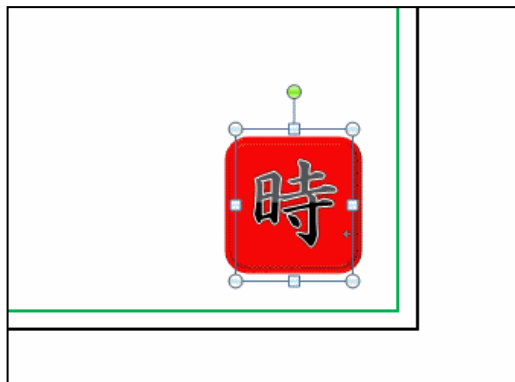
●赤の角丸四角形に重なるようにドラッグしましょう。



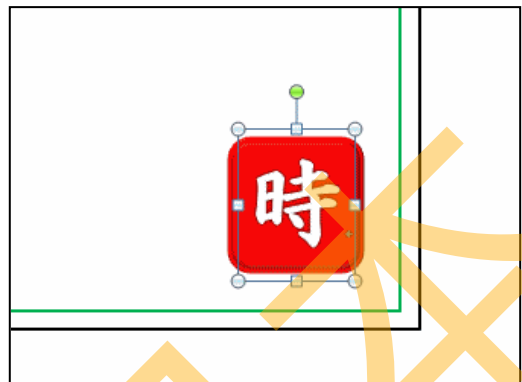
(5) 文字の塗りつぶしの色を設定する

◆ワードアートの文字の塗りつぶしの色を設定する方法をマスターしましょう。

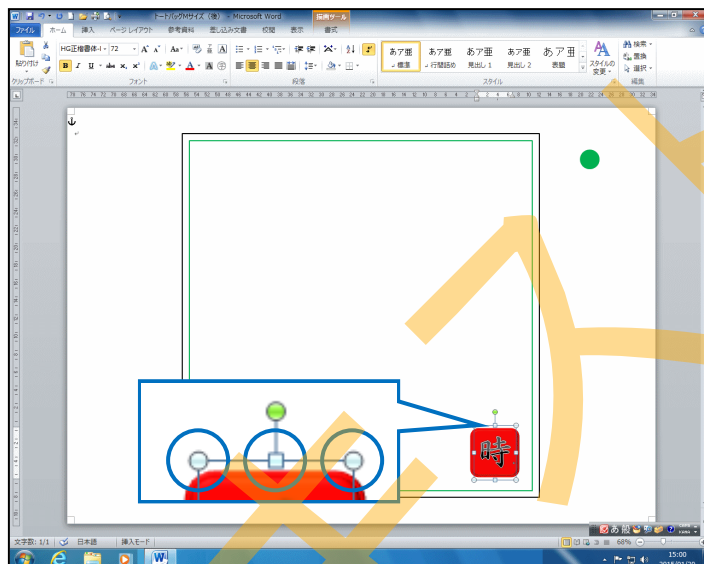
操作前



操作後



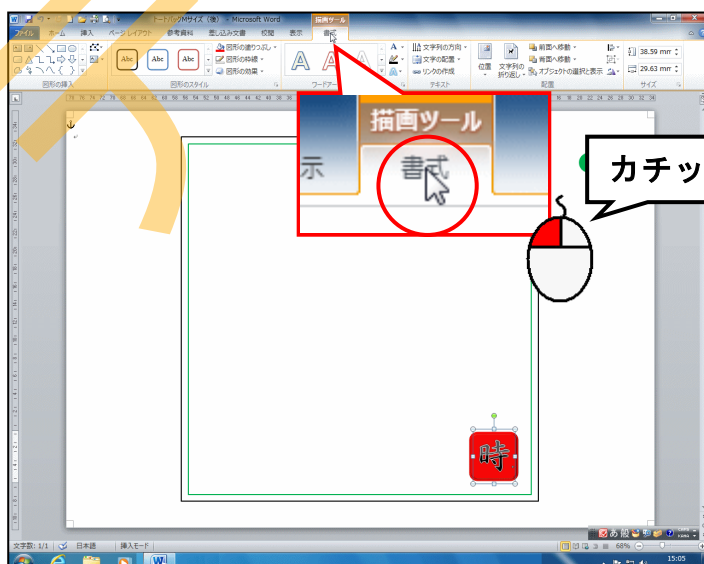
ワードアート「時」の周りに○や□が表示されていること、周りの線が実線であることを確認します。



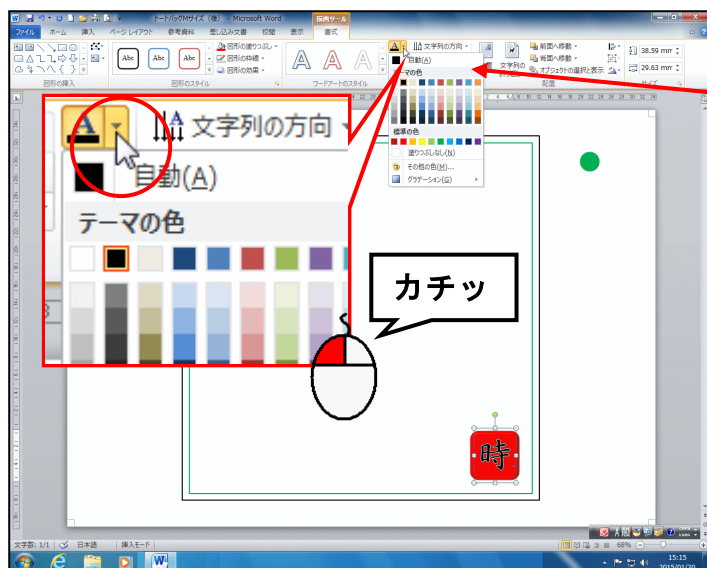
注意!

●ワードアートの周りの線が実線でない方は、ワードアートの中で一度クリックし、その周りに表示された点線にポイントして、マウスポインターが  になったところでクリックします。

【書式】タブにポイントし、クリックします。

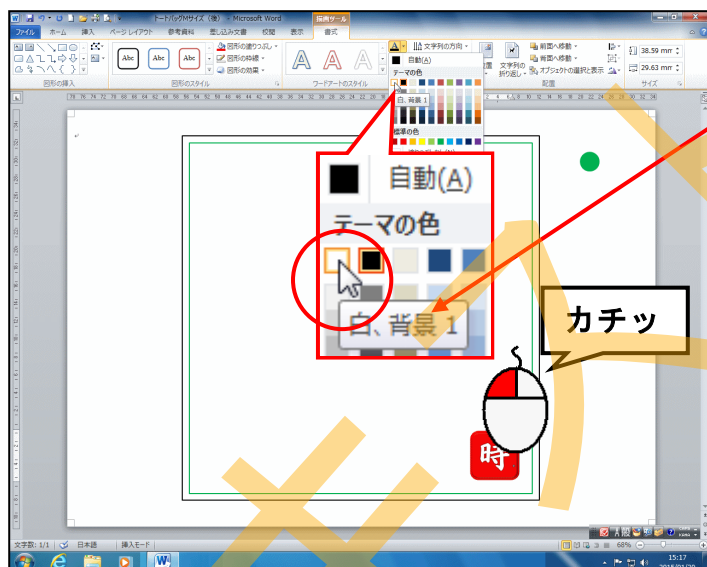


「ワードアートのスタイル」グループにある **A** ▾ 「文字の塗りつぶし」 ボタンの右にある ▼ にポイントし、クリックします。

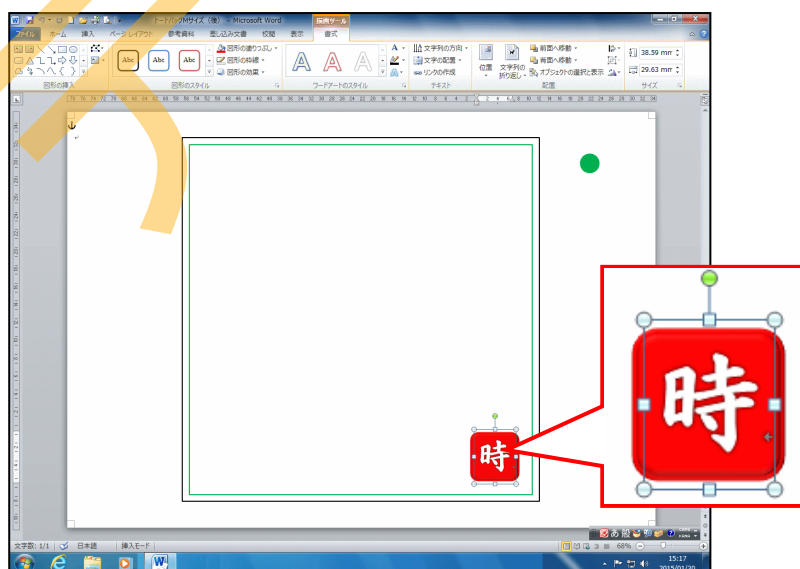


- **A** ▾ 「文字の塗りつぶし」 ボタンの右にある ▼ をクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。

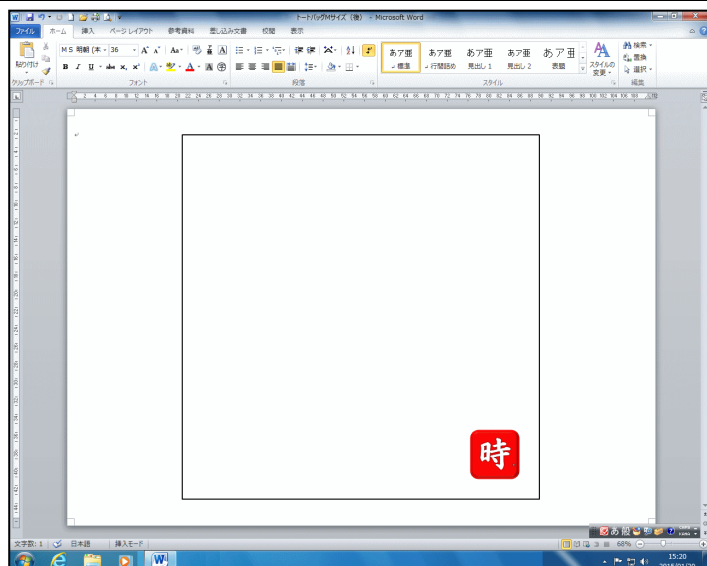
表示された色の一覧から「白、背景1」にポイントし、クリックします。



- 目的の色にポイントすると、色の名前がポップヒントとして表示されます。

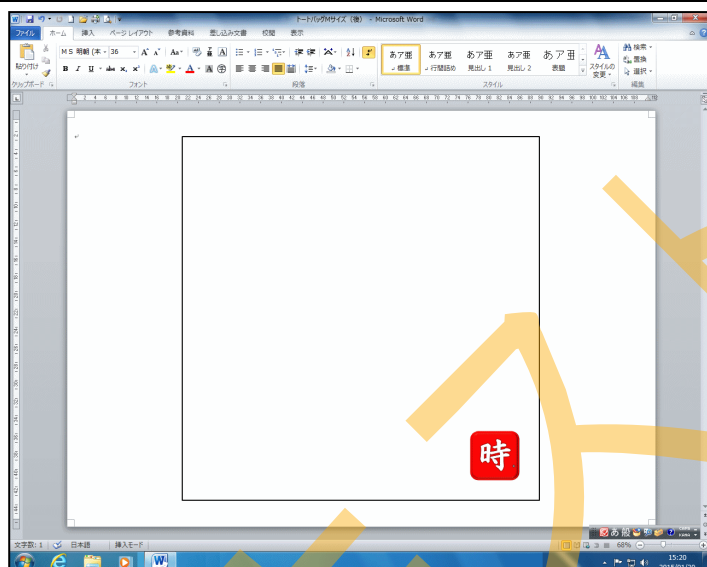


緑枠のガイドを削除しましょう。

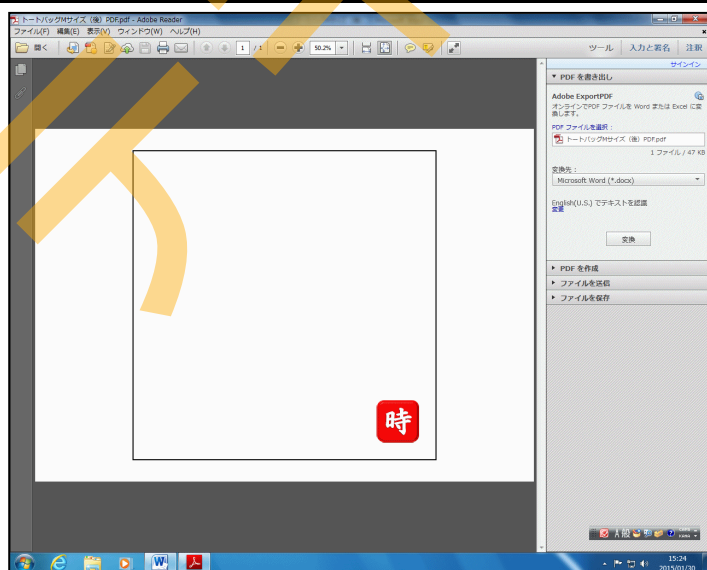


● 緑枠のガイドの削除方法を忘れた方は、P27 5. 緑枠のガイドを消すを参照しましょう。

画面左上の [上書き保存] ボタンをクリックして、上書き保存しましょう。



リムーバブルディスクに「トートバッグMサイズ（後）PDF」という名前で PDF 形式で保存しましょう。



● PDF 形式で保存する方法を忘れた方は、P28 6. PDF 形式で保存するを参照しましょう。

ここまでくれば、すべての画面を閉じておきましょう。

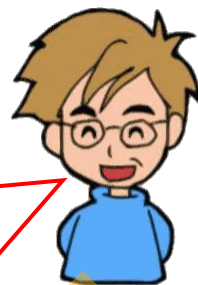
●トートバッグの注文について

作成したトートバッグは、データをお預かりして、下の写真のように印刷をしてお渡しすることができます。

デザインの注意点として、色が淡い色だと印刷されないこともあります。

ご自分でのご使用はもちろん、お子さんやお友達、ご近所の方にプレゼントしてみてもいかがですか？

ご注文に関しては、教室スタッフまでお問い合わせください。



予非天下見本

こだわりグッズをつくろう！ トートバッグ編(2010)

2015 年 3 月 31 日 初版 第 1 刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

ご連絡先